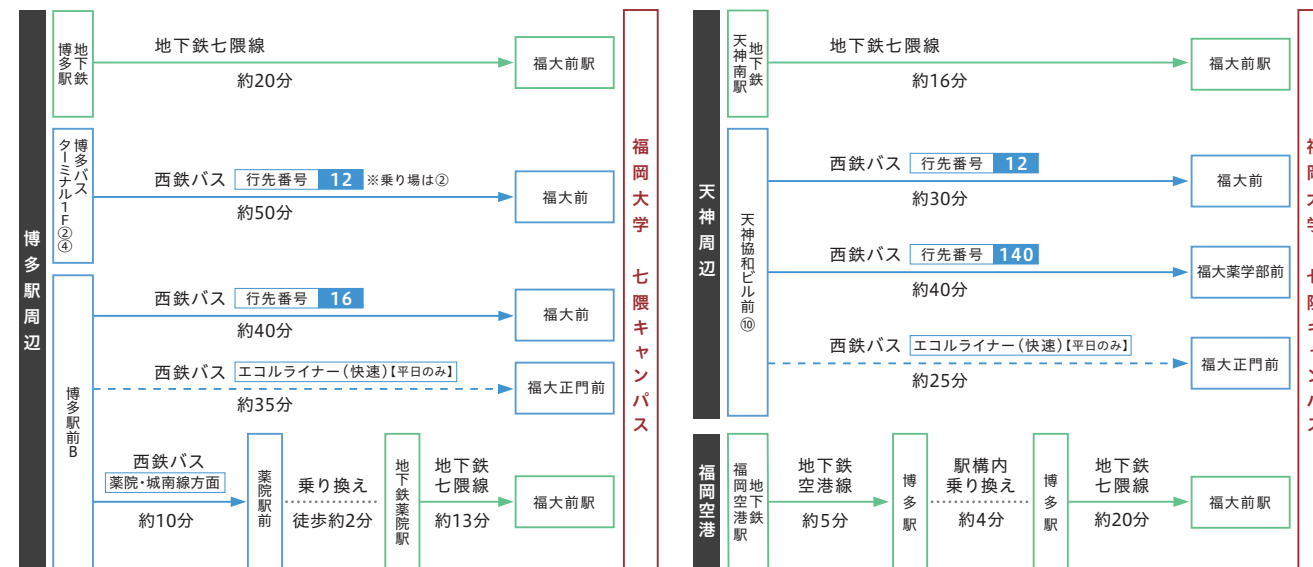


福岡大学アクセスマップ



交通案内



※時間帯によって交通混雑が予想されますので、所要時間は目安としてください。
 ※バスの行先番号が同じでも行先が異なることがありますので、バス正面の行先(経由地)をご確認ください。
 ※公共交通機関の運行状況に変更が生じる場合があります。最新の情報については、以下ウェブサイト等からご確認ください。
 ●地下鉄に関する情報……福岡市交通局 <https://subway.city.fukuoka.lg.jp/>
 ●バスに関する情報……西鉄バス <http://www.nishitetsu.jp/bus/>

[高速道路]

唐津方面からの場合
 西九州自動車道(福岡前原道路)から都市高速道路環状線に入ります。野芥ランプで降りた後、福大トンネル出入口の手前を右折し、梅林中学校入口を左折します。500mほど直進した後、福岡大学病院東口交差点を直進します。

北九州および福岡県外(大分・熊本方面など)からの場合
 九州自動車道の太宰府IC(インターチェンジ)から都市高速道路に乗り、月隈JCT(ジャンクション)を左折します。堤ランプで降り、国道202号線(福岡外環状道路)を2kmほど直進して福大トンネル出入口手前から右折し、福岡大学病院東口交差点を右に入ります。



Faculty of Humanities

福岡大学 人文学部

- 文化学科
- 歴史学科
- 日本語日本文学科
- 教育・臨床心理学科
- 英語学科
- ドイツ語学科
- フランス語学科
- 東アジア地域言語学科

Understanding Humanity

人間・文化・世界・自身…。こだわり、好み、趣味。
長い人生の4年間、
そんなことを突きつめる時間があっていい。



人間の知は膨大な文化遺産
次の百年 この遺産をいかに生かすか
この遺産に問いかけてみよう
偉大な遺産はきっと答えてくれる
それは喜ばしい知
汲み尽くせぬほど深く
心に触れる知



Contents 目次

学部長メッセージ	01
学科紹介	02
文化学科	04
歴史学科	10
日本語日本文学科	16
教育・臨床心理学科	22
英語学科	28
ドイツ語学科	34
フランス語学科	40
東アジア地域言語学科	46
各種課程教育情報・主な就職先	52

Three Policies 三つのポリシー

人材養成の目的「三つのポリシー」

- アドミッション・ポリシー (AP) 〈入学受け入れの方針〉
- カリキュラム・ポリシー (CP) 〈教育課程編成・実施の方針〉
- ディプロマ・ポリシー (DP) 〈学位授与の方針〉

人文学部の詳細は以下のQRコードから(公式ウェブサイト)

▼ AP



▼ CP



▼ DP



個々の興味・関心に応じる、多様な学科構成

人文学部は、8学科で構成されています。その分野は、他の大学でいえば、文学部・外国語学部・教育学部などで扱う学問領域に当たります。特定の学科に所属して専門分野を学びながら、関連教育科目として他学科の授業が受けられるので、人文科学の幅広い研究分野に接することができます。

幅広い教養の修得(共通教育と専門教育のくさび)

人文学部は、学問の基幹となる分野を扱う学科から構成されています。そして、ゼミナールや卒業論文などの少人数教育によって専門分野について知見を深めていきます。しかし、その学問の基礎を確かなものにするには、人文科学以外の社会科学・自然科学などの諸領域の知見も欠かせません。

教育・航空業界をはじめ、多方面への就職を支援

人文学部では、大学全体の就職・進路支援に加え、学生が早い時期からキャリア形成を意識できるよう、エアラインセミナー等の学部独自のセミナーを実施しています。また同窓会の主催による就職支援セミナーや各種講演会を実施しており、学生が学部教育を通して身につけた能力を、社会の各方面で発揮できるように、きめ細かな支援をしています。

海外研修・留学・国際交流

人文学部は、外国語教育を重視し、第二外国語を選択必修にしています。そして、外国語学習を支援する制度として、海外研修や留学制度をカリキュラムの中に取り入れています。学科の多さを反映して、研修や留学先も多彩です。

Message

学部長メッセージ

人間を多様な視点から 理解する



人文学部長 関口 浩喜 SEKIGUCHI Hiroki

人文学とは、Humanitiesという英語が示すように「人間に関するさまざまな学問」という意味です。人間に関するさまざまな学問、それが人文学であり、それを学べるのが人文学部なのです。

人文学部は、文化学科、歴史学科、日本語日本文学科、教育・臨床心理学科、英語学科、ドイツ語学科、フランス語学科、そして東アジア地域言語学科という、多様な8つの学科から構成されています。これら8学科に共通しているのは、〈人間への関心〉です。人文学部の8学科は「人間とは何か」という問いに、多様な視点からアプローチしています。各学科の紹介文章を読んでみてください。そこに必ずあなたの関心と一致する学科があるでしょう。

人文学部では「演習(ゼミナール)」と呼ばれる少人数科目が数多

く開かれています。演習に参加することによって、専門的な知識を深めるだけでなく、自分の意見を明確に述べる力、相手の主張に耳を傾け理解する力を着実に格段に伸ばすことができます。このような力こそ、現代社会において求められている「コミュニケーション能力」に他なりません。人文学部の4年間で培ったコミュニケーション能力は、あなたが卒業後に社会で活躍するための基盤となります。

「受験勉強」が終われば、自分で思いのままに学ぶことができる自由な4年間という時間が待っています。皆さんと福岡大学人文学部で会えることを心待ちにしています。

学科内部のしくみ一覽

文化学科 Department of Culture

1 年次	2 / 3 / 4 年次	
基礎教育	専門教育 ● 哲学・倫理学 ● 宗教学 ● 芸術学・美術史 ● 社会学 ● 心理学 ● 地理学 ● 文化人類学・民俗学	 詳細は 04-09 ページへ

英語学科 Department of English

1 年次	2 / 3 / 4 年次	
基礎教育	専門教育 ● 文化・文学科目群 ● 英語・英語教育科目群 ● グローバル・コミュニケーション科目群 ● グローバル・キャリア科目群	 詳細は 28-33 ページへ

歴史学科 Department of History

1 年次	2 / 3 / 4 年次	
基礎教育	専門教育 ● 日本史 ● 東洋史 ● 西洋史 ● 考古学	 詳細は 10-15 ページへ

ドイツ語学科 Department of German

	1 年次	2 / 3 / 4 年次	
ドイツ語圏 コース	基礎教育	専門教育	 詳細は 34-39 ページへ
ヨーロッパ 特別コース	基礎教育 (フランス語学科と一部共同授業)	専門教育 (フランス語学科と一部共同授業)	

日本語日本文学科 Department of Japanese Language and Literature

1 年次	2 / 3 / 4 年次	
基礎教育	専門教育 ● 日本語学 ● 日本文学 ● 比較文学	 詳細は 16-21 ページへ

フランス語学科 Department of French

	1 年次	2 / 3 / 4 年次	
フランス語圏 コース	基礎教育	専門教育	 詳細は 40-45 ページへ
ヨーロッパ 特別コース	基礎教育 (ドイツ語学科と一部共同授業)	専門教育 (ドイツ語学科と一部共同授業)	

教育・臨床心理学科 Department of Education and Clinical Psychology

1 年次	2 / 3 / 4 年次	
基礎教育	専門教育 ● 公認心理師トラック ● キャリアデザイントラック ● 学校教員トラック	 詳細は 22-27 ページへ

東アジア地域言語学科 Department of East Asian Studies

1 年次	2 / 3 / 4 年次	
基礎教育	専門教育 ● 中国コース ● 韓国コース	 詳細は 46-51 ページへ

文化学科

Department of Culture

文化の総合的・多角的理解!「哲学・倫理学」
「宗教学」「芸術学・美術史」「社会学」
「心理学」「地理学」「文化人類学・民俗学」。
これら7領域を横断的に学びながら、
現代社会が抱える課題の解決力を養う。

文化学科では、多様な価値観が共存する現代で活躍するための、広い視野と柔軟な発想力を併せもつ人材を育成します。祭りや儀礼、寺社仏閣、東西の思想、日本や海外の生活様式・都市デザイン、あるいは絵画や映画、アニメにマンガなどの「文化」、その「文化」を育む土壌である「社会」の構造やあるべき姿、そして、その「社会」で生きる「人間」の心のメカニズムや生きる意味に関心を持つあなたを、文化学科は待っています。

取得可能な主な資格

- 中学校・高等学校 教諭一種免許
- 博物館学芸員
- 社会教育主事
- 日本語教員
- 宗教文化士

福岡大学 人文学部 Webサイト



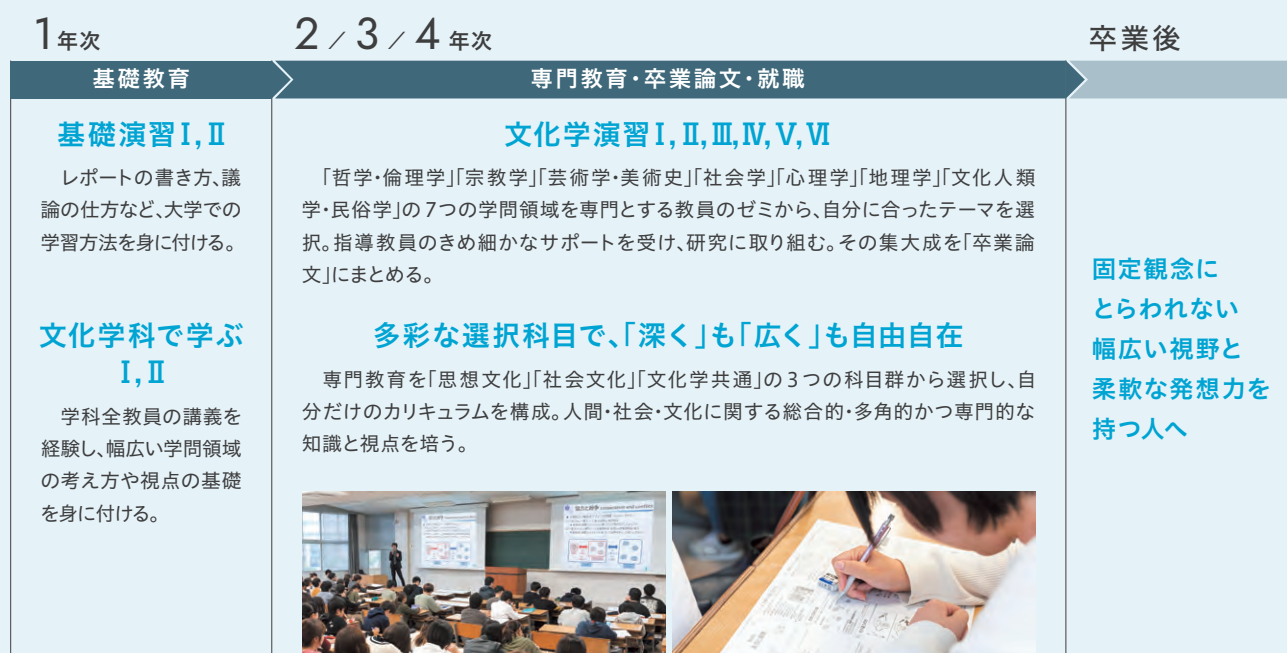
求める人材像(求める能力)

A	知識・理解	高等学校の教育内容を幅広く学修しており、文化の多様性を学ぶに十分な基礎学力を有している人
B	技能	学習や課外活動から得た経験を踏まえて、自らの視点で物事を順序立てて説明できる人
C	態度・志向性	本学科で学べる多様な文化の興味深さと有用性を理解し、その過程で得る知識や技能を社会のために積極的に活用したいと考えている人
D	その他の能力・資質	自己研鑽によって英語の資格を取得した人やスポーツ活動などで顕著な成績をおさめた人

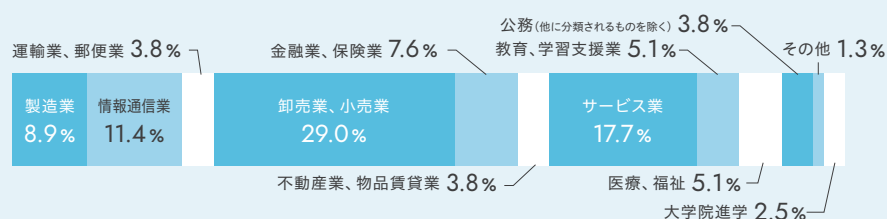
求める人材像
(求める能力)
の詳細は



文化学科での4年間



主な就職・進路先 (2023年度卒業生実績)



● 人文学部の主な就職先は **53ページ**

在学生の声

あらゆる視点から横断的に文化を学ぶ。
自分自身と向き合い、新たな価値観に出会う。

Q1 この学科の魅力は？

文化に関する幅広い分野を、一度に学べる点です。学問は一見すると個々で完結しているように思いますが、知識を深めていくとそれぞれの分野がつながっていることに気がきます。民俗学や宗教、哲学などさまざまなものに興味があった私にとって、多方面から文化を捉えられる本学科での学びは、日々発見の連続です。

Q2 好きな授業は？

「心は存在するのか」「なぜ善行をするのか」といった哲学の諸問題についてディスカッションする「文化学演習I」です。授業を通して、自分の思考が凝り固まっていることに気付いたり、固定概念が変わったりと、思考の柔軟性が養われました。こうして培った視野の広さを、人とのコミュニケーションに役立てていきたいと考えています。



丸山 夏さん

人文学部 文化学科 2年次生
福岡県 福岡大学附属若葉高校出身

※2023年取材時の情報です。

🕒 時間割 [2年次前期](例)

	MON	TUE	WED	THU	FRI
9:00	生涯スポーツ論	フランス語ⅡA			
10:40		インターメディア・イングリッシュ	西洋美術史	インターメディア・イングリッシュⅡ	
13:00	文化人類学特講		日本美術史		
14:40	中国の思想	情報処理入門	生涯学習概論A	文化学演習Ⅰ	フランス語ⅡB
16:20					

📄 その他カリキュラムの詳細は



卒業生の声

「自分の切り口」がカギを握るディレクター業務。
哲学を通して考え方を養えたからこそ、今がある。



天本 智香さん (2022年卒業)

株式会社KBC Moov

※2023年取材時の情報です。

テレビ番組『アサデス。KBC』のディレクターとして、VTRの制作やスタジオ展開の演出などを担当しています。VTRの制作はネタの提案から企画構成、アポ取り、台本作りなど、オンエアまでの工程をすべて1人で担当するため大変ではありますが、自分ならではの切り口を「面白い」と言ってもらえたときには非常にやりがいを感じます。

この「自分の切り口」を持つ点においては、学生時代の哲学の授業やゼミで培われた「物の見方」が役に立っています。常に当たり前を疑うように教わっていたので、些細なことでも原因や背景を考える習慣が身に付きました。また、先生の「優秀な哲学者は例え話がうまい」という言葉も印象的で、VTR中に例え話を用いるときにはよく思い返して

います。本学科はさまざまな学問に触れられるので、「まだやりたいことが見つからない」という人でも、4年間を通して新しい自分を見つけられると思います。



在学からのメッセージ

Department of Culture

ぶんが
がっか
よ

大学生活の中で自分の好きを見つけないという人におすすめの学科です。今はまだ漠然としている将来像も、さまざまな学問に触れるなかできっと確かなものになるはずです！(3年次生)



文化学科には多様な学問分野について広く深く扱うための土壌が整っています。そのため、それぞれの分野で学んだ点が線になる瞬間があり、より本質的な学びを楽しめます。(2年次生)



文化学科の魅力は七つ以上の学問領域に開かれていることです。バラエティに富んだ学問を横断的に学ぶことで多様性に富んだ視野を養うことができます。(4年次生)

文化学科の魅力はさまざまな学問を幅広く学べることだと思います。加えて、先生方も個性豊かで気さくな方ばかりなので、学生の人数があり多くないので、ほとんどの人と仲良くなれます！(4年次生)

多様な学問を学べることが魅力です。「入学前は特別興味を持てなかった分野だけど、学んでみると意外と面白かった」といった出会いが生まれ、興味や知識の幅が広がります。(3年次生)

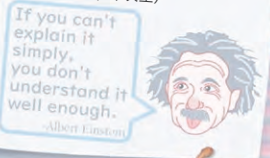


何色にでもなれる！それが文化学科です。今の興味関心を追究するもよし、新たに出会い視野を広げるもよし。みんな個性豊かだけれどどこか似ている。そんな魅力あふれるLCです。(4年次生)



「物事や言葉の、意味や本質、概念について無意識に考えてしまう人」「頭の中を言語化することが好きな人」は、文化学科の講義に知的好奇心を刺激されると思います！(3年次生)

文化学科では、自分と違う価値観や文化を学ぶことができ、多様化する現代で必要不可欠な、広い視野と多角的に物事を考える力を養うことができます。(3年次生)



文化学科の最大の魅力は、七つの領域の学問を学ぶ機会があり、既に学びたい分野が決まっている人も、そうでない人も、自分の可能性を見出すことができる点です。(2年次生)



文化学科の魅力は、さまざまな分野から得る新しい知識をもとに、前提を深めたりひっくり返したりすることだと思います。多くのあたりまで成り立つ日々の生活が、少し楽しくなります。(2年次生)



文化学科では身近な「文化」について多彩な学問からアプローチできるため、学びたいものが漠然としていても興味のある分野を幅広く学ぶことができます。(3年次生)



1番の魅力は学問分野が広いことです。「文化」をキーワードにしてさまざまな分野に触れることで、新たな気づきや学びを得ることができます。(3年次生)



文化学科では、自分の学びたい学問だけでなく、その他の文化に関わる多様な学問領域を幅広く学べる為、大学に入ってからたくさんさんの選択肢があります。自分がまだ、将来何をやりたいかがはっきりしていない方にはおすすめの学科です。(2年次生)

幅広い分野から自分の興味を模索でき、文化を客観的・相対的にみる力を身に付けることができる学部です。異文化に触れることが好きな私にとって、文化学科で学んだことは大きく役に立っています。(4年次生)



七つの分野を専門的に学ぶことができるため、一つの分野が自分に合わなくても大丈夫！色々なことを学びたい人やこれから興味のある分野を探したい人におすすめの学科！とにかく優しい雰囲気の人が多いのも特徴。(4年次生)



幅広い分野を学ぶことができるのが魅力！その自分自分の視野も広げることができ、新たな発見もあります。何を学びたいか正確には定まらず悩んでいるそのあなた！個性豊かな先生方と一緒にキャンパスライフを楽しんでみませんか？(4年次生)



魅力は自分の興味を好きなだけ探求できることです。ここではさまざまな分野が学べるので、周りの人の興味も同じとは限らず、学びを深めやすい環境だと思います。(2年次生)

1年次で、文化学科で学べる幅広い分野をつまみ食いするように知ることができ、その興味に従って翌年から履修を組むことができます。(4年次生)



文化学科の良いところは一つの分野に縛られずに幅広い学問分野を学べることです。これまで自分が興味を持っていなかったものにも触れる機会があり、教養を深めることができます。(3年次生)



一つのことを突き詰めて学びたいと思った時、案外その周りを取り囲む、さまざまな要因についても学ぶ必要が出てきます。文化学科では「人」に関係するさまざまな科目を選択し学ぶことができるため、自分にフィットする気になる」分野にも手を出しやすいことも文化学科内の魅力の一つと言えます。文化学科内の友人も美術史、社会学、哲学と各自学びたいことが違うことが多く、友人を介して新しい学びを得ることもあります。(3年次生)



教員・研究の紹介

文化学科に所属している教員をご紹介します。 ※2024年4月1日現在

宗教学



小笠原 史樹 准教授
専門分野
「中世哲学」「宗教哲学」

西洋の宗教について思想的・哲学的に研究しています。中世ヨーロッパのキリスト教を中心に、他の宗教や神話、文学や映画、日本の古典などにも研究を拡大中です。



岸根 敏幸 教授
専門分野
「神話学」「宗教学」「仏教学」

研究テーマは「神話と宗教を中心とする思想文化研究」です。近年では特に日本の神話における諸問題を研究しています。

芸術学・美術史



植野 健造 教授
専門分野
「芸術学」「美術史」「博物館学」

日本近代美術史、特に黒田清輝、藤島武二らを中心とした白馬会系の画家たちと、青木繁、坂本繁二郎など筑後地方生まれの画家たちの研究に意を注いでいる。



浦上 雅司 教授
専門分野
「芸術学」「美術史」

イタリアを中心とする近世(特に17世紀)の絵画と美術理論の関係を調べています。最近では、20世紀美術の多様性とその歴史的理解についても勉強しているところです。



落合 桃子 准教授
専門分野
「芸術学」「美術史」

ドイツを中心とする西洋の近現代美術史を専門としています。ヨーロッパと日本・アジアの文化交流についても調査研究を進めています。

心理学



大上 渉 教授
専門分野
「犯罪心理学」「認知心理学」

テロや異物混入事件など、さまざまな犯罪について、犯人の個人的属性や犯罪行動に着目して系統的に分析し、その犯罪の構造や特徴を明らかにする研究に取り組んでいます。



佐藤 基治 教授
専門分野
「認知心理学」「交通心理学」

ものの見方、見え方に関心があります。それを自動車運転時の人間の行動と関連付けて研究しています。



縄田 健悟 准教授
専門分野
「社会心理学」「集団力学」「組織心理学」

集団の光と影をテーマとしています。影の側面として集団暴力や集団間紛争、光の側面として組織におけるチームワークを研究しています。



古川 善也 講師
専門分野
「社会心理学」「感情心理学」

人の善悪に関連した心理や行動をテーマにしています。道徳や規範に反した際に生じる感情による行動の修正や道徳や規範を守ることに対する認知的正当化による影響を研究対象として扱っています。



文化人類学・民俗学



高岡 弘幸 教授
専門分野
「民俗学」「文化人類学」

日本各地で怪異・妖怪に関する伝承の調査を行い、経済統計などでは明らかにできない、人びとの「生活実感」を明らかにしようと奮闘しています。



中村 亮 教授
専門分野
「文化人類学」「地域研究」

アフリカ(タンザニア、スーダン)と日本(福井県、千葉県)の沿岸部で、漁民文化、里海、資源管理、文化遺産、地域振興などをテーマに文化人類学研究をしている。



宮岡 真央子 教授
専門分野
「文化人類学」

東アジアにおける文化とエスニシティについて調査研究。特に台湾の先住民族を主対象とし、植民地経験・国民国家・人類学史との関係に主たる関心を持つ。

地理学



磯田 則彦 教授
専門分野
「人文地理学」「人口研究(人口移動研究・人口問題研究)」
先進諸国および発展途上諸国の両社会について研究をしてきましたが、とりわけ、少子高齢化の進展による人口減少と各社会の人口政策に関心があります。



藤村 健一 准教授
専門分野
「宗教地理学」「文化地理学」「歴史地理学」
これまで主に下記のテーマで研究をしてきました。／宗教分布／寺院と地域社会の関係の歴史的变化／宗教と自然環境の関係／宗教と観光の関係／信仰の場所としての世界遺産



近藤 祐磨 講師
専門分野
「地理学」「人文地理学」

松原と言われる日本の海岸マツ林を事例として、人間と自然の相互関係に関心があります。地域や空間を軸として、政治経済、社会、生態系について幅広く考えています。

社会学



開田 奈穂美 講師
専門分野
「社会学」

地域開発等の事業が、ときに大規模な環境変化を介して地域社会のありかたに変化をもたらす側面に焦点をあてて、環境と地域社会がどうやって存続しつづけるのかについて研究しています。



平田 暢 教授
専門分野
「数理社会学」

環境問題などに見られる社会的行為の意図せざる結果や、投票など社会的決定の研究をしています。仮説の構築方法にも関心があります。



本多 康生 准教授
専門分野
「医療社会学」「災害社会学」「社会問題論」

ケアや支援をキーワードに、社会学の立場から、東日本大震災・熊本地震など災害被災地の高齢者支援や民生委員活動、およびハンセン病問題の研究を行っています。

哲学・倫理学



関口 浩喜 教授
専門分野
「哲学」

哲学が私の専門です。ウィットゲンシュタインという不思議な哲学者に魅せられ、いまは「言葉が意味を持つ」という、当たり前の事実にく(哲学的な)関心を持っています。



竹花 洋佑 准教授
専門分野
「哲学」「近代日本哲学」

日本における西洋哲学の受容という観点から、西田幾多郎・田辺元の哲学を中心とした近代日本哲学を研究しています。また、歴史・文化の哲学的考察も行っている。



飯泉 佑介 准教授
専門分野
「哲学」「近代ドイツ哲学」

近代のドイツ哲学、特にヘーゲル哲学について理論的・歴史的観点から研究しています。哲学の方法論、哲学と歴史、メタ形而上学、絶対者と実存などのテーマに取り組んでいます。



中村 未来 准教授
専門分野
「中国哲学(中国思想史)」「日本漢学」

主に新出土文献(竹簡や帛書)を用いた中国古代思想史の研究を行っています。また、それらを受容した江戸期の日本漢学についても関心を持っています。



林 誓雄 教授
専門分野
「倫理学」「近現代英米哲学」

18世紀スコットランドの哲学者デイヴィッド・ヒュームの思想を中心に、近現代の道徳哲学・倫理学を研究しています。



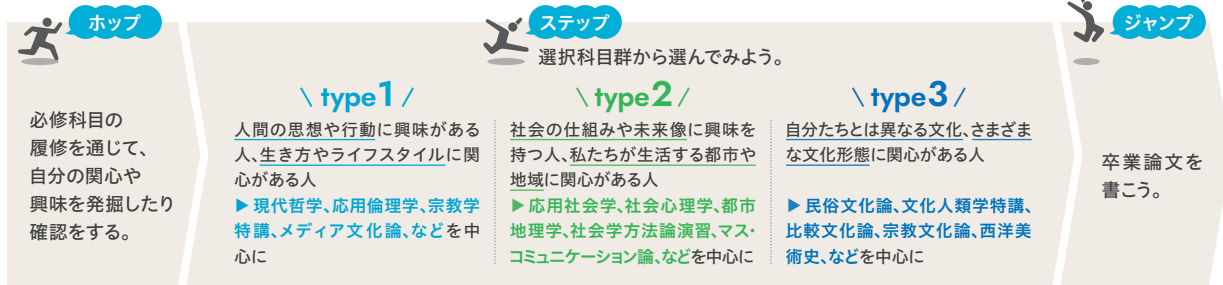
大木 崇 准教授
専門分野
「古代ギリシア哲学」

古代ギリシア哲学、中でも特にアリストテレスの哲学を研究しています。また、さまざまなパラドックスにも関心があります。

文化学科Q&A

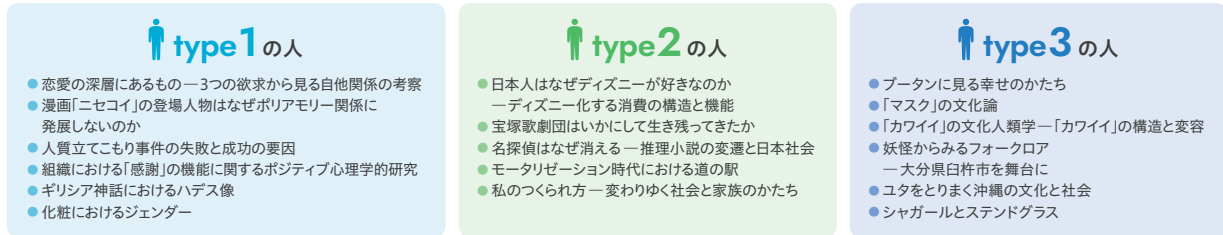
Q1 文化学科に入学したらどんな授業を受けることになるのでしょうか？

A1 文化学科でのあなたの4年間をおおよそ次のようにイメージしてみましょう。



Q2 先輩たちはどんな卒業論文を書いたのでしょうか？

A2 過年度に提出された卒業論文のタイトルを下に挙げてみましょう。



Q3 卒業後の進路は？

A3 学科の性格上、卒業後の進路も多様です。具体的には、一般企業に就職する人、在学中に教員の資格を取得して中学・高校の先生になる人、学芸員の資格を取得して専門職を目指す人、公務員試験に合格して官公庁に勤める人、あるいはもっと専門的に学びたくて福岡大学や他大学の大学院に進学する人たちもいます。どのような道を歩むにせよ、大学での4年間の過ごし方が、卒業後の進路に大きく影響することは言うまでもありません。

歴史学科

Department of History

ひとりひとりに向き合う細やかな指導。
専門性の高い「考える歴史学」に
取り組むことで、
「過去」から「いま」の世界がみえてくる。

歴史学科で取り組むのは「考える歴史学」です。日本史では古文書を、東洋史では漢文を、西洋史では欧文を読み解き、考古学では出土遺物等を調査して、情報収集・分析を行ったうえで研究発表を繰り返し、最終的には卒業論文を執筆します。専門性の高い学びですが、段階的に組まれたカリキュラムと丁寧な指導が4年間で支えます。また、学生参加型の授業や学会との連携など、充実した教育・研究環境がもたらすメリットも多々あります。卒業後は培った情報収集・分析力やプレゼン力をいかして、民間企業や公務員、教員など幅広い分野での活躍が期待されます。学芸員や研究者を目指して大学院に進学する人も増えています。

取得可能な主な資格

- 中学校教諭一種免許(社会)
- 高等学校教諭一種免許(地歴・公民)
- 博物館学芸員
- 日本語教員

福岡大学 人文学部 Webサイト



求める人材像(求める能力)

A	知識・理解	高等学校の教育内容を幅広く学修しており、歴史学を学ぶに十分な基礎学力を有している人
B	技 能	問題点を発見し、それを他者に分かりやすく説明することが出来る人
C	態度・志向性	歴史学の高度な専門知識や幅広い教養をいかして社会で活躍したいと考えている人
D	その他の能力・資質	スポーツなどの課外活動で優秀な成績をおさめた人や、英語の資格を取得した人

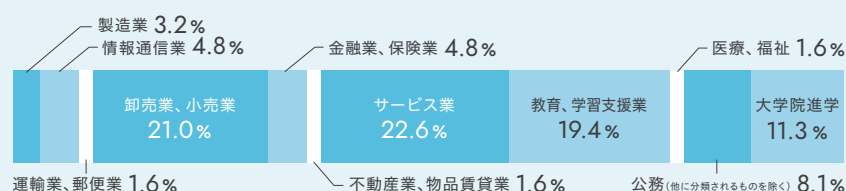
求める人材像
(求める能力)
の詳細は



歴史学科での4年間

1年次	2年次	3年次	4年次	卒業後
基礎教育	専門教育	専門教育	論文・就職	
高校の「歴史学」から大学の「歴史学」へ ●歴史学入門演習(ゼミ) 少人数ゼミでレジュメづくりや発表、レポート作成に取り組み、情報の収集・整理・発信の手法を学びます。 ●史学概論A・B さまざまな専門分野を持つ歴史学科の教員の講義を通じて、歴史学に必要な基礎知識や学問的な考え方を身に付けます。 ●各概説科目 日本史・東洋史・西洋史・考古学に関する基本的な論点や知識を学びます。	調査・研究の能力を高める専門教育 ●基礎演習(ゼミ) 日本史・東洋史・西洋史・考古学の中から専修を選択し、専門的な学習に取り組んでいきます。基礎演習では各専門分野の論文を読んで発表を繰り返し、読解力とプレゼンテーション能力を高めます。 ●原典講読・考古学方法論 原典講読では古文書や外国語文献の読み解き方を徹底的に学びます。考古学方法論では出土遺物や遺跡の調査方法について学びます。	専門性を深め、自分の研究テーマを探究する ●演習(ゼミ) 古文書や外国語文献を読み解き、研究課題をみつめてゼミ発表し、ディスカッションすることにより、課題発見能力や議論する能力を高めます。また、卒業論文の執筆に向けて自分の研究テーマを探し、深めていきます。 ●専修ごとの特講 日本史・東洋史・西洋史・考古学の特講科目では、歴史学科の教員が各分野における研究状況について講義し、最新の研究成果や研究方法について学びます。	4年間の集大成卒業論文の執筆 これまで学んできた知識や研究手法をいかして調査・研究を進め、自分で設定した研究テーマに関する知見を卒業論文にまとめ、データ収集・分析能力と論理的な思考力を養います。 	4年間で培われた情報収集・分析力やプレゼン力をいかして、広範囲なフィールドで活躍できる人材に。 高い専門性をいかし、教員や学芸員として活躍する卒業生も多い。

主な就職・進路先(2023年度卒業生実績)



●人文学部の主な就職先は [53ページ](#)

自分の目・手・足を動かして歴史に触れる。
興味がある分野に深く浸かれるのが楽しい。

Q1 この学科の魅力は？

土器の実測や測量の技術を学ぶなど、教科書だけではなく自分の身体を動かして遺物や遺跡に向き合える点です。また、2年次からは日本史・東洋史・西洋史・考古学の中から専修を選択するので、関心のある分野を納得いくまで追究できる点も魅力です。学べば学ぶほどに「もっと知りたい」が増える、向上心に溢れた学科だと思います。

Q2 好きな授業は？

「考古学からみた文化と歴史A」です。墳墓・城郭・精神世界の3分野を、考古資料と先生の最新の研究内容をもとに学んでいます。疑問にすぐに答えただけなのでより知識が深まり、中国語の意味を知る良い機会にもなっています。将来は、このように「自分の身体で歴史に触れる楽しさ」を伝えられる教師になりたいと考えています。



弓削 怜子 さん

人文学部 歴史学科 3年次生
福岡県 城南高校出身

※2023年取材時の情報です。

🕒 時間割 [3年次前期](例)

	MON	TUE	WED	THU	FRI
9:00		考古学からみた文化と歴史A	地理歴史科教育法 地理	地誌学A	
10:40		公民科教育法	教育相談	考古学演習ⅠA	
13:00	欧米各国史A	考古学演習ⅡA	日本史特講A		
14:40	生徒指導論			西洋史特講A	
16:20	東洋史特講A		社会科教育法(地理歴史分野)Ⅰ	宗教史A	

その他カリキュラムの詳細は



卒業生の声

将来の選択肢を増やすための
多様な学びと経験ができる場所。

パイロットとして、国内や海外の空港へ飛行機を操縦して、お客さまを安全に目的地まで送り届ける仕事をしています。クルーと協力して計画立案や問題解決に取り組み、無事に目的地に到着できたときは達成感があります。

本当にパイロットになれるか不安で進路に迷っていた在学中、「大丈夫、君ならなるよ」と言って優しく背中を押してくださったのが、日本近代史ゼミの先生でした。その言葉がとても心強かったのを、今でもよく覚えています。

「歴史」と聞くと年号や歴史上の出来事をなぞるイメージを持つかもしれませんが。私も、小さい頃に祖父から戦時中の話をよく聞いていて、もっと深くこの時代について学びたいと歴史学科に進学した

一人です。しかし、学びの対象は想像以上に幅広く、進路もさまざまです。学生時代を振り返ると、小さな一歩を踏み出すことが大切だったように思います。多くのことを経験して、皆さんの将来の選択肢が増えていくことを願っています。



廣實 直樹 さん (2009年卒業)

全日本空輸株式会社
フライトオペレーションセンター B787部

※2023年取材時の情報です。

日本史・東洋史・西洋史・考古学、専門性を高める4つの研究領域。

専門的な研究方法を学ぶために、2年次からは日本史・東洋史・西洋史・考古学の4専修からひとつを選択します。各専修は専門領域が異なるだけでなく、日々の学習にもそれぞれ個性があります。考古学は発掘や実測などを通じて学生と教員が一緒に実習する機会が多いです。日本史や東洋史は古文書や漢文をじっくり読み解いていく、いわば歴史学の「王道」。他方、西洋史では学生同士が歴史の現代性を意識し、活発にディスカッションを行っています。

日本史専修

- 学びの内容
日本史の研究手法は当時の手紙や日記をじっくりと読み解き、その時に何が起っていたのかを正確に復元し、評価するというものです。授業では古文書の読解力と歴史的事象を把握する力を養います。3年次後期には自分のテーマを設定し、卒業論文に向けて研究を深めていきます。
- 昨年度提出された卒業論文のテーマ
 - ・九州南朝勢力の研究―征西府と筑後国―
 - ・伴天連追放令の発布とその影響
 - ・近代日本における同性愛形成と社会の変容



ゼミ旅行で史跡探訪。



古文書読解の授業風景。

西洋史専修

- 学びの内容
欧文で記された文献を読み解き、ヨーロッパやアメリカで発表されている研究論文や専門書を読み解く力を養います。また、過去の出来事やそれが発生した経緯が、今日のあり様にどのようにつながってきているのかを意識しつつグループワークを繰り返し、活発にディスカッションを行います。
- 昨年度提出された卒業論文のテーマ
 - ・17世紀ロンドンの都市社会と災害
 - ・訪問看護と女性―革新主義時代のアメリカ社会を中心に―
 - ・パレスチナにおけるイギリス委任統治政策



2・3年生合同での研究発表会。



ゼミ合宿では登山もありました！

東洋史専修

- 学びの内容
福大歴史学科の東洋史では中国史研究を中心としますので、まず中国の編纂史料について扱える能力を培います。そのうえで、おもに王朝の官僚たちが記したその内容を批判的に検討できるよう、他の資史料との対照や先行研究の参照についても訓練を重ねます。3年次からは「卒論構想発表」を重ね、卒業論文執筆に向けて自らの研究にも取り組みます。
- 昨年度提出された卒業論文のテーマ
 - ・北朝隋唐期における側近集団
 - ・宋代女性に対する社会的抑圧
 - ・清末における衛生制度と西欧列強



ゼミ後にみんなで慰労会。



ゼミ旅行では海外に行くことも。

考古学専修

- 学びの内容
考古学は現在まで残っている物質資料から人類の歴史を復元する学問です。授業では、遺構や遺物を資料として用いることができるように、測量や実測なども行います。各地の遺跡や埋蔵文化財センター・博物館等をめぐって資料調査を行い、卒業論文に向けて研究を深めます。
- 昨年度提出された卒業論文のテーマ
 - ・九州・中国地方の銅鐸埋納
 - ・中国南北朝時代の北齊仏について
 - ・九州における掩体壕と飛行場の関係



実習により調査能力を高めます。



専門書がならぶ考古学研究室。

歴史学科Q&A

- Q 歴史は好きだけど、就職は民間を希望。大丈夫？
A 歴史学科のゼミでは、課題設定・情報収集と整理・プレゼン・議論・文章化というプロセスを繰り返すことで、研究能力を高めます。でも、こういう能力って、どんな仕事にも求められるもの。4年間で育んだ能力をいかし、民間で活躍している先輩はたくさんいます。
- Q 学芸員資格はどうやったらとれるの？
A 卒業に必要な単位に加えて、学芸員資格取得課程の授業をプラスアルファで受講する必要があります。博物館での実習もあります。また、分野にもよりますが、さらに専門的な知識や技能を身に付けるために、卒業後に大学院へ進学するケースも多くみられます。

- Q 教員になりたいが、歴史学科で学ぶメリットは？
A 中学校の社会科教員や高校の地歴科教員の免許は他の学部・学科でも取得できますが、歴史学科で専門的な知識や研究手法を身に付けておくと、いざ教壇に立った時に、教科書の内容をきっちり理解したうえで授業することができます。話題も豊富になりますよ。

- Q カリキュラムに入っているゼミってなに？
A 少人数で実施する発表中心の授業で、科目名では「演習」といいます。受講者はテーマについて調べ、レジュメ（発表資料）を作成してプレゼンテーションし、研究を深めます。他の受講生や教員と意見交換することで、コミュニケーション能力も高めます。

資格取得者 INTERVIEW (1)

教員

中学校の社会科教員、
教壇に立ってわかったこと。

Aさん

教員になりたくて、中学校の社会と高校の地理歴史の教員免許を取得しました。教員免許をとるには教職科目を多く取らないといけませんが、実際に教壇に立ってみると、歴史学科で専門科目をしっかりと勉強したことが役に立っています。

🕒 教員免許取得のための時間割サンプル [3年次]

	MON	TUE	WED	THU	FRI
9:00				地誌学	
10:40			地歴科教育法	西洋の文化と歴史	日本史特講
13:00	欧米各国史	西洋史演習		西洋史特講	
14:40	東洋史特講	人文地理学			
16:20			社会科教育法	概説社会学	西洋史演習

資格取得者 INTERVIEW (2)

学芸員

考古学の学芸員を
目指しています！

Bさん

高校までは考古学になじみはなかったのですが、専門の先生の授業が刺激的で、発掘や研究に興味を持ちました。ゼミの先輩には、卒業後すぐに発掘現場の仕事に就いた先輩もいますが、大学院で研究を続けている先輩もいます。私はどうしようかなあ。

🕒 学芸員資格取得のための時間割サンプル [3年次]

	MON	TUE	WED	THU	FRI
9:00					
10:40			博物館展示論	考古学演習	日本史特講
13:00		考古学演習	朝鮮史		
14:40	東洋史特講	博物館実習 I			
16:20	文化財学概論	博物館資料保存論		考古学特講	歴史学資料論

1. ゼミ研修旅行案内

歴史学科では専修ごとに、あるいはゼミごとに研修旅行が行われています。史跡や博物館を訪れ、現地・現物をこの目でみることににより知見を深めます。まさに「百聞は一見にしかず」の実践です。研修旅行を通じて教員や学生同士の親睦もはかります。また、研究報告が中心のゼミ合宿を実施することもあります。

📌 これまでの行き先

- ・鎌倉（日本中世史ゼミ）
- ・京都（日本中世史ゼミ）
- ・広島（日本近世・近代史ゼミ）
- ・沖縄（日本近世・近代史ゼミ）
- ・台湾（東洋史専修）
- ・タイ（東洋史専修）
- ・九重（西洋史専修）
- ・阿蘇（考古学専修）



アユタヤ(タイ)

2. 歴史学科を母体とする学会、七隈史学会

歴史学科には、教員・大学院生・学生・卒業生を中心に運営され、市民にも開かれた歴史学の学会「七隈史学会」があります。毎年秋に福岡大学キャンパスを会場に研究発表大会が開催され、学界をリードする研究者を招聘しての公開講演と、教員・大学院生・学生・卒業生による研究発表が行われています。歴史学科の学生にとっては、普段はなかなか聞くことのできない最新の研究成果に触れる貴重な機会になっています。

📌 近年の公開講演のテーマ

- 2023年講演 野上建紀氏「近世陶磁器貿易史」
- 2022年講演 藤原辰史氏「ナチスの食料戦争」
- 2021年講演 福岡良明氏「大衆教養主義の戦後史」
- 2020年講演 桃木至朗氏「東・東南アジア史の時代区分論に2020年をどう位置づけるか」
- 2019年講演 岡本隆司氏「世界史と中国史」

教員紹介

※2024年4月1日現在



西谷 正浩 教授

日本史 専門分野
「日本中世史」

専門は日本中世史です。日本の中世は、古代につながる古い社会と今日につながる新しい社会が交差した転換期です。現在、私たちは先行きのみえない転換の時代にいます。大転換を生き抜いた中世人の貴重な体験は、現代の私たちにも示唆を与えてくれます。



山田 貴司 准教授

日本史 専門分野
「中世後期の地域権力論」

室町時代から安土桃山時代までの西国をフィールドに、アジアの諸地域やヨーロッパ勢力との交流も視野に入れつつ、地域権力(戦国大名や国衆)の政治・軍事・文化的動向を研究しています。この時期に特有のダイナミックな史的展開と一緒に解きあかしていきましょう。



梶原 良則 教授

日本史 専門分野
「日本近世・明治維新史」

幕末維新期に力をつけ、やがて幕府を倒して近代国家の建設を行った西南雄藩を中心とした藩政改革(行政・財政・軍事改革や経済政策等)や、西洋近代科学技術(近代的銃砲や蒸気軍艦等)の導入、外国の文物・情報を手に入れる窓口となった長崎の研究を行っています。



福嶋 寛之 教授

日本史 専門分野
「昭和期の教育と国家」

昭和の戦争と教育の関わりについて研究してきました。最近では日本列島の外に視野を広げ、朝鮮・台湾・満洲国・ハワイ・アメリカ・ブラジルなど、海外で生まれ育つ日本人二世を日本国家がどのように統治しようとしたのかについて研究を進めています。



山根 直生 教授

東洋史 専門分野
「中国唐・五代十国・宋代史」

中国の9～11世紀が専門です。「唐宋変革論」としての議論も多いこの時代を、現地調査の手法、軍事社会史・社会学の知見を借りてとらえ直そうとしています。直近の研究課題は、宋代に多くの軍人が寄進して建立された河北省定州市開元寺塔の石刻資料です。



則松 彰文 教授

東洋史 専門分野
「中国清代の社会と経済」

中国清代の研究をしています。私はとくに、18・19世紀の世界と中国という視角を大事にしています。西欧諸国のうち最もつながりの深い英国と清国の関係史を研究していますが、その際に、中国茶とインドアヘンは不可欠の要素です。これも世界史の醍醐味と言えます。



渡邊 裕一 准教授

西洋史 専門分野
「中・近世ヨーロッパ史」

中・近世のヨーロッパ、とくに南ドイツの都市アウクスブルクを対象に、環境史、災害史、疫病史の視点から研究を進めています。災害やベスト流行など危機的な状況に直面した社会の対応に着目し、中・近世ドイツ都市に生きた人々の日常と非日常にアプローチしています。



森 丈夫 教授

西洋史 専門分野
「初期アメリカ史」

アメリカ合衆国が独立する前の北米を専門としています。この時代は一般にイギリス人の移民に焦点が当たりますが、現在は広い視点から時代像を見直す研究が進んでいます。私は帝国という広域的な政治体制の動向と先住民—ヨーロッパ人の関係について研究しています。



古澤 義久 准教授

考古学 専門分野
「東北アジアの先史文化」

韓国、北朝鮮、中国東北地区、ロシア沿海州といった東北アジアの新石器時代～青銅器時代の文化を研究しています。そして、それらの地域と縄文時代～弥生時代の九州の関係についても研究しています。また、戦国時代～清代の中国貨幣についても研究しています。



桃崎 祐輔 教授

考古学 専門分野
「古代・中世の考古学」

古墳時代の馬具や騎馬文化、祭祀や酒造り、古代・中世の仏教考古学、日宋・日元貿易に関係する沈没船に積まれた鉄素材や陶磁器などを研究しています。みずから遺跡や遺物、研究テーマを見つけ出し、知的好奇心を追求する学生を求めています。厳しく学問を鍛えるので一緒に研究しましょう。



大重 優花 助手

考古学 専門分野
「中近世の金工品」

卒業論文がきっかけで鐘を研究しています。普段は除夜の鐘等でしか見る機会はないですが、鐘や刻まれた銘文は歴史を雄弁に語ってくれます。考古学は、モノから人類の過去を研究する学問です。皆さんも夢中になれるモノをみつけて、人類の歴史を明らかにしましょう。



歴史学科の年間スケジュール

4月	■ 入学式 ■ 科目登録／前期開始 ■ 対面式・新入生歓迎会(1年次)	9月	■ 後期開始 ■ 七隈史学会大会 歴史学科を母体とする学会の研究発表会・講演会です。
5月		10月	
6月	■ 教育実習 4年次の教員免許取得希望者の実習。時期は実習先によります。	11月	■ 学園祭 ■ 卒業論文構想発表 3年次のゼミ(専修)単位で実施。時期はゼミ(専修)によります。
7月	■ 前期終了／定期試験	12月	■ 卒業論文提出(4年次)
8月	■ オープンキャンパス ■ 博物館実習 4年次の学芸員資格取得希望者の実習。時期は実習先によります。 ■ ゼミ(専修)研修旅行・合宿 3～4年次のゼミ(専修)単位で実施。時期や行き先はゼミ(専修)によります。 ■ 歴史学入門演習研修旅行(1年次)	1月	■ 後期終了／定期試験 ■ 卒業論文口頭試問(4年次) 提出した卒業論文について、指導教員の質疑に答える口頭試験です。 ■ 卒業論文発表会 優秀な卒業論文の執筆者が、歴史学科の教員・学生の前で口頭発表します。
9月		2月	■ 専修分け説明会(2年次) 自身の興味・関心に即して、2年次からの専修を選択します。 ■ ゼミ分け説明会(3年次) 自身の興味・関心に即して、3年次からのゼミ(卒業指導教員)を選択します。
		3月	■ 卒業式(4年次)

歴史学科が刊行してきた歴史学の入門書

大学での学びを充実させるためのポイントは、暗記中心の「高校の歴史学」から、問いと考察を重視する「大学の歴史学」へのスムーズな移行です。これを支援するために、歴史学科ではこれまでに3冊の入門書を刊行しています。書店や図書館にあったら、ぜひ手にとってみてください。教科書に書いてあることは正しいの？書かれていない史実は不要なの？そんな問いかけから、学びははじまるのです！



福岡大学文学部歴史学科編『歴史はおもしろい』(西日本新聞社、2006年)



福岡大学文学部歴史学科編『歴史はもっとおもしろい』(西日本新聞社、2009年)



福岡大学文学部歴史学科編『18歳からの歴史学入門』(溪流社、2019年)

日本語日本文学科

Department of Japanese Language and Literature

広い視野で学ぶ
日本語と日本文学を通して
専門的知識と洞察力を備えた、
豊かな人間性を持つ人材を育む。

私たちの文化、社会、生活の根幹となる日本語と、それにより表現された日本文学。日本語日本文学科では、全時代をカバーする教授陣によって、それらを体系的に学びます。また、充実した比較文学のカリキュラムは、「世界の中の日本」というより広い視野での研究を可能にしています。演習中心の少人数制授業を通して、日本語と日本文学の根幹を学び、専門的な知識とともに、ものごとを深く考える力を備えた、豊かな自己の確立を目指します。

取得可能な主な資格

- 中学校・高等学校 教諭一種免許
- 日本語教員

福岡大学 人文学部 Webサイト



求める人材像 (求める能力)

A	知識・理解	高等学校の教育内容を幅広く学修し、日本語学・日本文学を学ぶに十分な基礎学力を有している人
B	技能	学習や課外活動、幅広い読書経験をもとに、正確に物事を考え自らの言葉で表現できる人
C	態度・志向性	自らの日本語能力と日本文学の素養をさらに向上させ、積極的に生かしていこうとする人
D	その他の能力・資質	自己研鑽により、英語の資格を取得した人やスポーツ活動・競技会等で顕著な成績をおさめた人

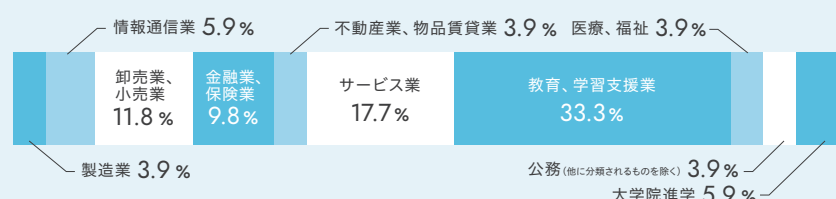
求める人材像
(求める能力)
の詳細は



日本語日本文学科での4年間

1年次	2年次	3年次	4年次	卒業後
基礎教育	専門教育	専門教育	論文・就職	
基礎を学ぶ 新入生はまず、「日本語日本文学基礎演習」で大学での学び方の基礎を身に付けます。「日本文学史」「日本語学概論」「日本文学概論」「比較文学概論」で学科のさまざまな専門分野の知識を得て2年次以降の専門教育の準備を行います。さらに「古典文学講読」で古典の基礎を学びます。 	基礎を学び、「調査研究法」で自らの興味、関心を発見する 卒業論文を指導する10人の教員が、それぞれ調査研究法の授業を担当します。この授業を通じて、調査の方法、データの収集とその分析、書誌学や文献学の初歩、研究方法とその組立て方などを学びます。3年次の演習や4年次の卒業論文につながる重要な科目で、4科目以上履修しなければなりません。また、講読や日本語史などの基礎的な科目も1年次より引き続きカリキュラムに組み込まれています。	ゼミに所属—学生自らが主体的に考え、発表する演習 調査研究法を担当した10人の教員は、それぞれ演習(ゼミ)を担当します。通常3年次は二つのゼミに所属しますが、授業は3年次と4年次の合併で行われ、学年を超えた縦のつながりが生まれます。自ら調べ、考え、まとめ、発表することによって、卒業論文のテーマを発見していきます。その他、各ジャンルの特講では、より深い専門的な講義が行われています。	卒業論文 3年次で履修したゼミの中から一つを選び、4年間の学習の成果として卒業論文を作成します。日本語日本文学科のカリキュラムは、この卒業論文に向けて組み立てられており、必修科目となっています。論文作成のために費やした多くの時間は、卒業後の貴重な思い出となることでしょう。 	教育をはじめさまざまな分野で活躍できる人へ

主な就職・進路先 (2023年度卒業生実績)



●人文学部の主な就職先は **53ページ**

在学生の声

文学や言葉の成り立ちの歴史をひもとくと
日本語の新たな魅力を発見できる。

Q1 この学科の魅力は？

古典文学から近代文学、現代文学まで、どの時代の文学も網羅的に学習できます。作品誕生の背景を歴史的な出来事や当時の文化的な側面から考える機会があり、今まで一方からしか見ていなかったものも、視点を変えると全く違う発見があると気付きました。また、文献は学内の図書館で探すことが多く、情報収集力や判断力も身に付きました。

Q2 好きな授業は？

「日本語学概論」では、現代語の先生から方言や音声学について学びます。課題では、日本語の不思議な使われ方について調べるレポートがあり、私は飲食店の看板やメニュー表で見かける「丼」の言葉について考察しました。日本語の面白さに夢中になってまとめたレポートは初めて1万字を超え、大きな達成感が自信にもつながりました。



太田 結愛 さん

人文学部 日本語日本文学科 3年次生
福岡県 香椎高校出身

※2023年取材時の情報です。

🕒 時間割 [1年次前期] (例)

	MON	TUE	WED	THU	FRI
9:00		日本語学概論 I	フレッシュマン・イングリッシュ II		
10:40	自然界と物質の化学	比較文学概論	日本語日本文学基礎演習		
13:00		スペイン語 I A	教職概論	日本史概説A	フレッシュマン・イングリッシュ I
14:40		日本国憲法	日本文学史 I	生涯スポーツ演習 I	
16:20			日本史A	日本文学概論 I	スペイン語 I B

その他カリキュラムの詳細は



卒業生の声

日本語の価値を再確認し
魅力を味わいながら研究する。



園田 克利 さん (2009年卒業)

大野城市立御陵中学校

人文科学研究科 日本語日文学専攻 博士課程前期 (2011年修了)
人文科学研究科 日本語日文学専攻 博士課程後期 (2017年満期退学)

※2023年取材時の情報です。

和歌について学ぶゼミでは、一首ずつ分析的に解説し、言葉の意味や使われ方、技法、表現の工夫、歌人、時代背景など細部まで突き詰めて研究しました。研究の手順や資料・データの扱い方を知り、一つの物事に真摯に向き合って極めることを学びました。この経験は、国語教師として働く今も、さまざまな場面で役立っている宝物です。

また、先生や友人など大学での多くの出会いと経験が、人間的な成長につながりました。先生方とは卒業後も関係が続いており、ゼミの先生からいただいた「人というのは、やるべきことを見つけた時に変わることができる」という言葉を今も忘れずに大切にしています。

言葉や文学は、私たちにとって非常に重要なものです。学生生活を通して言葉や文字を見つめ直すことでその価値を再確認し、魅力を味わいながら磨くことが大切だと改めて実感しています。



専門科目について

専門科目の特徴

- 専門科目は、日本語学系列、日本文学系列、比較文学系列の三つに分かれます。一つの専門に集中するのではなく、他の専門の科目も取るようにすることで、幅広い、バランスの取れた学習をすることができます。
- 系列が三つに分かれているだけでなく、時代も各時代をカバーしています。本学科のカリキュラムでは、基本的な知識の習得と、専門性の高い学習の両立が可能となっています。



教員の構成



教員からのメッセージ

※2024年4月1日現在



衣畑 智秀 教授

日本語学 古代語

日本語の文法史を研究しています。特に関心のあるテーマは、「係り結び」や疑問文の歴史です。係り結びはどのように成立し消滅したのか、係り結びの消滅は、日本語の文法にどのような影響を与えたのか。その影響関係は、現在も係り結びが使われる琉球諸語で、どのような形で表れているのか。授業では、係り結びが活発に使われていた上代・中古を中心に、必要があればその後の歴史も含めて学んでいきます。

〔衣畑ゼミの卒業論文〕

- ・動詞「ことわる」の歴史の変遷について
- ・さげすみの副助詞「なんか」の歴史の変遷
- ・動詞「過ぐ」の歴史の変遷
- ・中古和文における助動詞の研究 ～「めりき」「けるなめり」
- ・上代における「日」についての考察
――音節語ヒ・フ・カ・ケの意味分析――



山縣 浩 教授

日本語学 近代語

現代共通語の歴史的背景に関する研究を中心にしながら、地域語の歴史的変遷や地域語の運用・意識に関する研究を行っています。「日本語力」は、社会人として最も基礎的な能力であり、全ての学問を支えるものです。この力は、「ことば」に対する多面的な関心と問題意識によって言語感覚を磨いていくことによって高められると考え、学生諸君に日々接しています。

〔山縣ゼミの卒業論文〕

- ・筑後方言における不快感を表す語
――大牟田方言を中心に――
- ・赤川次郎の文体―『杉原爽香』シリーズの色彩語
- ・確認要求表現の地理的諸相―九州北部地域を中心に
- ・近代日本語における時間節の史的探究
- ・明治女流作家の言文一致体
- ・嵯峨の屋お室の文体



江口 正 教授

日本語学 現代語

現代日本語関係の科目と、日本語教員養成科目を担当します。普段言葉を使うときにはいちいち文法は気にしませんが、言葉の使い方を少し真面目に考えると、不思議なところが出てきます。そういう謎を見つけ、解いていくのが私の目標です。いつも自分が使う言葉の中に、誰にも見つけられなかった「謎」が潜んでいるのが分かった時はとてもワクワクするのですが、その感覚を共有できるように一緒に学んでいきたいと思っています。

〔江口ゼミの卒業論文〕

- ・「文字を書く」ことの言語化について
- ・感動詞研究 談話管理理論から見た「あーね」論
- ・出雲方言の文法―文末の「ニ」
- ・文末名詞「形」～新聞記事における「形」の機能～
- ・動詞に後接する「ばかり」の研究
- ・形式名詞「甲斐」の意味・機能について



大坪 亮介 准教授

日本文学 古典文学(中世)

中世文学、特に南北朝動乱を描いた軍記物語『太平記』を主たる研究対象としてきました。およそ六十年にもわたって朝廷が分裂し、全国規模で戦いが繰り返された混沌の時代を、当時の人々はいかに理解し、いかに叙述しようとしたのか。また、『太平記』はいかなる時代的背景によって、いかに変化していったのか。こうした点に興味を持っています。

〔大坪ゼミの卒業論文〕

- ・和歌からうかがえる七夕
- ・『とはずがたり』における作者後深草院二条と父雅忠
- ・『平家物語』の諸本における重盛と維盛



高橋 昌彦 教授

日本文学 古典文学(近世)

江戸時代中期から後期の文人たちを研究しています。江戸といえば、「町人文化」というイメージで語られてきたこれまでの文学史に対して、公家や大名、武士や僧侶などの伝統的文化の牽引者たちを、あらためて評価しようという視点に立っています。現代、知識偏重を批難する風潮がありますが、学問に関して、知識に無駄はありません。学生諸君にもより多くの知識を身に付けてほしいと思います。

〔高橋ゼミの卒業論文〕

- ・玉藻前説話の変遷
- ・『爰の小文』研究
- ・黄表紙とその時代
- ・『日本詩史』攷
- ・西鶴にみる「武道」について



畑中 佳恵 准教授

日本文学 近代文学

日本近現代文学を研究しています。とくに、「長崎」イメージの形成と文学作品の関わりについて調べたり考えたりしてきました。大学での数年間は、自他の常識となっている価値観やイメージをいろいろな角度から吟味することやその重要性を学べる、かけがえない期間です。自分と異なる時代、属性、人間関係を生きる人々の視点が織り込まれた文学作品は、その学びを手助けしてくれます。さまざまな作品との出会いを楽しみながら、一緒に読み解いていきましょう。

〔畑中ゼミの卒業論文〕

- ・小川洋子「博士の愛した数式」論
―登場人物間の愛情表現の描写を中心に―
- ・夢野久作「少女地獄」論―作中に登場する少女の嘘―
- ・江戸川乱歩『孤島の鬼』論
―タイトルに込められた意味について―
- ・内田百閒作品における声・音の考察―「冥途」を中心に―
- ・夏目漱石「文鳥」論



永井 太郎 教授

日本文学 近代文学

専門は明治末から大正期にかけての近代文学です。内田百閒という作家の研究ですが、同時代の小説や思想にも関心を持っています。授業では夏目漱石や内田百閒をはじめ、多くの作家を扱うようにしています。個々の作品について論じるだけでなく、小説に関する、より一般的な問題についても考えていきます。

〔永井ゼミの卒業論文〕

- ・太宰治『葉桜と魔笛』論
- ・宮部みゆき「火車」論
- ・中島敦「古譚」論
- ・安部公房『バベルの塔の狸』論
- ・江戸川乱歩『孤島の鬼』論



須藤 圭 准教授

比較文学 古典文学(中古)

源氏物語をはじめとした、平安時代に成立した中古文学を研究しています。これらの中古文学は、拔群に面白いストーリーやキャラクターを持つことはもちろん、現代においても、絵画、芸能、映画、漫画、アニメ、舞台など、さまざまな作品に影響を与えています。およそ1000年前に書かれた中古文学を、いま、私たちが読むことの価値は、どこにあるか。このことを考えながら、文学が持つ想像力と可能性を問いなおしたいと思っています。

〔須藤ゼミの卒業論文〕

- ・高畑勲『かぐや姫の物語』論
- ・『源氏物語』に描かれた女性たちの「影」
- ・『とりかへばや物語』における女君の容姿と表現
- ・王朝物語における冒頭表現の方法と史的展開
- ・八代集恋部における「月」の表現



中野 和典 教授

日本文学 近代文学

昭和期以降に書かれた日本文学を研究しています。この研究領域は、いわゆる「時の洗礼」を受けていないという意味では最も洗練されていないものと言えますが、それゆえに「現在的な問題」により直接的に接近できる可能性も持っています。ただし、それは目の前にあることだけに目を向ければ見えてくるというものではありません。時代や場所を越えてより多くのものごとに目を向けることによって初めて見えてくる問題を、学生の皆さんと一緒に追究していきたいと考えています。

〔中野ゼミの卒業論文〕

- ・芥川龍之介「蜜柑」論
- ・壺井栄「二十四の瞳」論
- ・小川洋子「博士の愛した数式」論
- ・太宰治「人間失格」論
- ・大岡昇平「野火」論
- ・宮本輝「星々の悲しみ」論



林 信蔵 教授

比較文学 近代文学

比較文学を担当しています。比較文学とは、文学作品をそれ自体としてだけではなく、それと隣接するさまざまな要素との関係から考えてみる学問と言いかえることができます。私は、日本近代文学におけるフランス文学・文化の影響、音楽や絵画に造詣が深い作家の文学作品の特徴について考えてきました。また、日本文学がどのように海外に紹介されているのかなどについても関心があります。

〔林ゼミの卒業論文〕

- ・三島由紀夫「女神」における「アメリカ」と「ヨーロッパ」
- ・村岡花子訳「赤毛のアン」論
―隠された愛の言葉めぐる―
- ・林芙美子のバリ表象
- ・谷崎潤一郎「少年」論
―なぜ光子は「少年」と呼ばれるのか―
- ・梶井基次郎「檸檬」における色彩表現

学科年間スケジュール (一例)

4月	■ 前期開始／入学式 ■ 学部指導懇談会 … 教員と1年次生が初めて顔を合わせます。 ■ 新入生歓迎会(1年次) … 2年次生が新入生を歓迎します。
5月	
6月	
7月	■ 前期試験
8月	■ オープンキャンパス … 教員と在学生が高校生に学科を紹介します。 ■ 夏休み ■ ゼミ合宿(3・4年次) … 卒論執筆に向けて合宿するゼミも。
9月	■ 後期開始
10月	
11月	
12月	■ 卒業論文提出(4年次) … 日本語日本文学科は卒論が必修です。
1月	■ 後期試験 ■ 卒業論文口頭試問
2月	■ 卒業論文発表会 … 優秀な卒業論文をみんなの前で発表します。 ■ 演習ガイダンス(2年次) … ゼミの希望届けを出し、3年次の配属を決めます。 ■ 履習ガイダンス(1年次) … 調査研究法の履習について説明します。 ■ 予餞会(1～4年次) … 卒業生を送り出す会ですが、全学年が参加可能です。
3月	■ 訪書旅行(2年次) 原書や文学遺跡に直接触れることで得られる感動を体験できる機会として、2年次に実施する二泊三日の訪書旅行があります。目的地は京都を中心とした関西圏です。現地の図書館・博物館などで貴重な典籍を目にしたり、宿舎に戻って百人一首大会をしたりして、学生と教員が交流を深めます。 ■ 卒業式



進路について



就職

本学科卒業後の就職先としては、広く言葉の能力や文学的感性を要求される職業が挙げられます。最も代表的なものは教職です。現在は、教員の需要が少なく、厳しい状況下にあります。その中でも、本学科では中学校や高等学校の教員として、九州地区だけでなく、愛知県や東京都、千葉県など中部地区、関東地区での教員採用試験に合格して活躍している卒業生も少なくありません。

日本語教員は国内外で日本語を教えている卒業生がいます。教員以外では、国家・地方公務員や卸売・小売業などの一般企業でも広く活躍しています。



進学

卒業後、さらに専門的に学びたい人のために大学院があります。大学院は博士前期課程と博士後期課程の二つの課程があり、前期課程は2年間で修士論文を執筆します。後期課程は3年間で、博士論文の審査を通ると博士の学位が与えられます。学部卒業生にとって、大学院に進学するのも一つの道でしょう。真剣に学び、高度な力を身に付けた人に、もっと学びたいという気持ちが出てくるのは自然なことです。

また、そういう希望が生まれるくらい勉強してほしいと思います。前期課程を修了した学生には専修免許状が与えられ、国語の教員を目指す人にも、大学院で学ぶことは有益です。

教育・臨床心理学科

Department of Education and Clinical Psychology

教育と臨床心理、
2つの領域の統合で
人を育み、人の心に関わる。

教育・臨床心理学科では、「教育学」と「臨床心理学」の2つの領域を総合的に学ぶことで、自分の生涯にわたるキャリア形成について主体的に考え、人を支援するための知識とスキル、態度を身に付けていきます。将来の進路に応じた、公認心理師トラック、キャリアデザイントラック、学校教員トラックの3つのトラックで学んでいきます。

取得可能な主な資格

- 公認心理師国家試験受験資格
(大学における必要な科目)
- 中学校(社会)・高等学校(公民)
教諭一種免許
- 社会教育主事(基礎資格)
- 日本語教員

福岡大学 人文学部 Webサイト



求める人材像(求める能力)

A	知識・理解	教育学と臨床心理学の2つの分野を学ぶのに十分な基礎学力を有している人
B	技能	人と社会に向きあい、課題を発見し、解決にむけて他者と協力できる人
C	態度・志向性	人と社会に興味をもち、新しい学びや出会いに積極的な人
D	その他の能力・資質	自ら目標を立てて、英語の資格を取得した人や課外活動などで顕著な成果を挙げた人

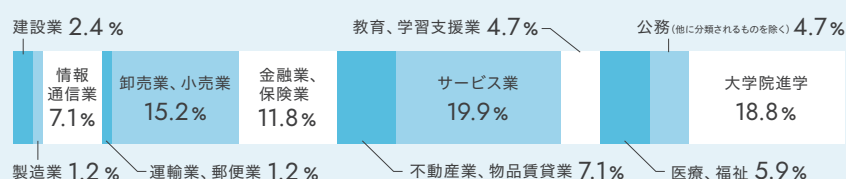
求める人材像
(求める能力)
の詳細は



教育・臨床心理学科での4年間

1年次	2 / 3 / 4年次	卒業後
基礎教育	専門教育 / 論文・就職	
「キャリア形成基礎論Ⅰ」を受講し、「公認心理師トラック」、「キャリアデザイントラック」、「学校教員トラック」の特徴を知ると共に将来の進路イメージを作り、1年次終了時にトラック選択を行います。 希望が集中した場合には、GPA(1年次の成績)で振り分けることもあります。	● 所属するトラック(詳細は24ページ〜)の科目を中心に学びます。各トラック独自の特色のある実習の機会があります。 ● 他のトラックで開講されているさまざまな専門科目も履修可能です(一部制限あり)。 ● 2年次後期には「キャリア形成基礎論Ⅱ」を受講し、自分のこれからの学びとキャリアについて具体的に考えます。 ● 3年次からは、選択したトラックにかかわらず、自分の興味関心に従って専門演習(ゼミ)を選択することができます。   	地域社会や学校、病院、企業等で専門的知識とスキルを生かして、人を支援する人材へ

主な就職・進路先(2023年度卒業生実績)



● 人文学部の主な就職先は [53ページ](#)

“正解”を見いだしにくい教育や心理の問題を
「自分事」として捉えて考えを深めてみる。

Q1 この学科の魅力は？

1つの事象について、教育学と臨床心理学の2つの視点から考え方を学び、その違いを深められます。入学当初は心理学に興味がありましたが、学びを深めるうちに教育学の視点から問題にアプローチしたい思いが強くなりました。自分の関心に沿って教育学と臨床心理学の両科目を履修できるので、柔軟な学びが実現できます。

Q2 好きな授業は？

「多様性の教育学」では、海外にルーツを持つ子どもやセクシャル・マイノリティの子どもを例として、多様性が尊重される教育について考えます。意見を交わす時間が多く、些細なことにも関心を持つようになりました。教育や心理には答えにたどり着かない問題も多くありますが、自分事として考え続けることが大切だと気付きました。



吉富 純音 さん

人文学部 教育・臨床心理学科 3年次生
福岡県 つくば開成福岡高校出身

※2023年取材時の情報です。

🕒 時間割 [3年次前期](例)

	MON	TUE	WED	THU	FRI
9:00					生涯学習支援論A
10:40	心理学実験	関係行政論		心理学的支援法	
13:00	多様性の教育学	社会・集団・家族心理学			教育福祉論
14:40		教育論A		専門演習Ⅰ	芸術A
16:20		法と子どもの権利			特別支援教育論

その他カリキュラムの詳細は



卒業生の声

子どもたちを支援するためのスキルとともに
人と関わる上で最も大切な気付きを与えてもらった。



千代田 温 さん (2021年卒業)

嘉麻市役所 子育て支援課 発達相談支援係
療育訓練支援員(会計年度任用職員)

人文科学研究科 教育・臨床心理専攻 博士課程前期(2023年修了)

※2023年取材時の情報です。

高校生の頃から公認心理師を目指していたため、受験資格を得られる大学院がある大学を目指していました。福岡大学を選んだのは「教育と心理の両側面を学ぶこと」「ワンキャンパスに多様な学部が存在し、幅広い価値観に触れられること」などに魅力を感じたからです。現在は、未就学児を対象とした個別療育や、保育園・幼稚園への巡回相談を主な事業とし、子どもたちの成長・発達を促すサポートをしています。

在学中は、発達検査や知能検査、発達障害など、仕事に直結する知識がたくさん学べました。また、クライアントを理解する上では悩みにフォーカスせず、強みや肯定的な側面にも目を向けると良い支援につながることも、学生時代に得られた大きな

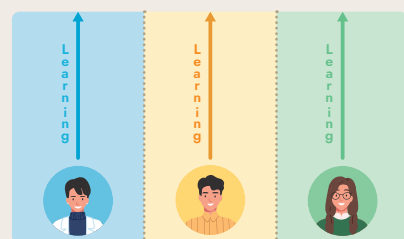
気付きです。以来、仕事はもちろん、人と接する上ではポジティブな部分も捉えられる存在でありたいと常に意識するようになりました。



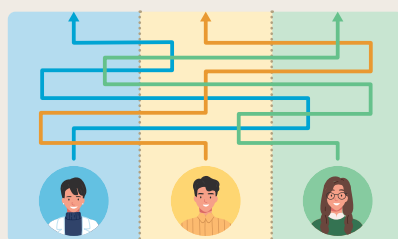
本学科が採用している「トラック制」とは？

トラック制と似たものに「コース制」があります。コース制は専門に特化した学びが可能である一方、他のコースの授業が取りにくい、コース同士の交流が少ない、などのデメリットもあります。

本学科の最大の特長は教育学と臨床心理学の両方が学べること。その持ち味をこれまで以上に生かすために、私たちは★「トラック制」を導入しました。



コース制のイメージ



★トラック制のイメージ

Point

トラック制によって、例えば「教育や学校現場に理解のある公認心理師」、「子どもの心理や対応に詳しい学校教員」、「教育と心理の知識を生かせる社会人」を目指すことができます。

「教育学」と「臨床心理学」の両方を学ぶ魅力を最大限生かす
＝「トラック制」！

公認心理師トラック

心に寄り添い、人に関わる
心理のプロフェッショナルを目指して。

公認心理師を目指す人向けのトラックです。「総合大学の良さ」を生かし、医学部、病院、附属校とも連携しています。学部のみならず大学院も公認心理師対応のカリキュラムになっています(実習の関係から、人数制限があります)。

実習紹介

心理実習

福岡大学病院、福岡大学附属高校、発達教育センター、法務少年支援センター、産業保健総合支援センターなどで見学等の実習を行います。公認心理師が社会の中で果たす役割を具体的に学ぶことはもちろん、公認心理師としてのキャリアについても考えます。

充実したセミナー

公認心理師国家試験・現役合格体験談セミナー

現役合格者に、合格に向けた具体的な取り組みについて紹介してもらいます。学部での学びはもちろん大学院での経験、年齢が近い公認心理師ロールモデルとして多くのことを知ることができる、大変貴重な機会です。



予想される進路

- 大学院進学(公認心理師)
- 公務員・各種団体職員(福祉、司法、矯正領域の心理専門職)
- スクールカウンセラー
- 一般企業におけるカウンセラー、人事・教育・マーケティング部門等の職員
- 医療機関職員
- 福祉施設職員
- NPO、NGO職員 …etc.

Graduate's Voice 卒業生の声

2021年3月まで勤務した児童相談所では、これまで一時保護所で子どもたちの生活場面での行動観察や心理療法を行いました。現在は子どもへの心理検査、心理療法、家族面接に携わっています。「チームで子どもたちのためになる支援を」を目標に、日々自己研鑽に励んでいます。



末永 智子
[福岡県精神保健福祉センター]

キャリアデザイントラック

教育学と臨床心理学の学びを
社会の多様な領域で生かす。

教育学と臨床心理学は専門職になるためだけの学問ではありません。このトラックでは、講義や演習に加え、トラック独自の実習を通し、民間企業、官公庁、NPOなど多様な領域で活躍できる人材の育成を目指します。

実習紹介

キャリアデザイン調査法、キャリアデザイン演習

社会調査法に関する基礎的な知識と技能の習得を目指して、フィールドワークを行います。また、調査活動を通じた出会いや経験を自身のキャリア形成に生かすことも目的としています。

充実したセミナー

就活対策セミナー、キャリアデザインセミナー

教育・臨床心理学科生が授業で身に付けた能力や資質を生かして、就職活動等を成功させていく。そのためのテクニックを学ぶためのセミナーを、優れた専門家を招いて実施しています。



予想される進路

【業界】

- 地元有力企業、関東関西の有力企業
- 公務員
- 自治体、公益財団法人、NPO
- 教育関連企業、人材育成・派遣企業

【職種】

- キャリアカウンセラー、キャリアコンサルティング、人事担当、企画立案 …etc.

Graduate's Voice 卒業生の声

“とにかくやってみなければわからない”。ゼミ合宿で訪れた町の合い言葉です。彼らが持っていた町を復興するための情熱は、大きな街から訪れた私がちっぽけに見えるほど魅力的なものでした。そこで見たものは、社会に出た今でも忘れられません。参加した小さな合宿で私は一生を支える大きな出来事を体験することができました。



加莊 夏美
[クルーズ株式会社]

学校教員トラック

多様な社会で生きていく子どもたちを育てる
教員・支援者の養成。

このトラックでは、「多様性」をキーワードに、多様な子どもたちへの支援や多様化する社会を生きる子どもたちの育成の在り方考える講義・演習、さらには課外セミナーを通し、学校教員や教育支援者を養成します。

実習紹介

教育デザイン実習

学校教育に限らず、多様な学びの場(フリースクール、夜間中学等)について外部講師の話を聞いたり、見学したりします。また、高校生向けに「大学での学び」について考えるプログラムを企画したりします。

充実したセミナー

LP×多様性セミナー、教採対策セミナー

課外でも、多様性(性の多様性、外国人児童生徒等)に関する学びを深めたり、教員採用試験に向けた対策をしたりする機会があります。教員との距離も近く、学生同士の交流の機会にもなっています。



予想される進路

- 中学校教諭(社会科)、高等学校教諭(公民科)
- 小学校教諭(※別途プログラムの受講が必要)
- NPO(フリースクール)、教育関係企業
- 大学院進学(教育学の大学院、教職大学院等)
- 公務員(教育行政職) …etc.

Graduate's Voice 卒業生の声

私は、卒業論文で「セクシュアル・マイノリティ」に関する研究に取り組みました。多様性が重視されている現代において、「セクシュアル・マイノリティ」に関する知識は、小学校教諭にとって必要不可欠です。卒業論文の内容について先生方やゼミの仲間と議論したことは、とても貴重な経験でした。



横沼 一志
[下関市立勝山小学校]

教員・研究の紹介

教育・臨床心理学科に所属している教員をご紹介します。
※2024年4月1日現在



植上 一希 教授

専門分野
「教育学」
「キャリア教育」

研究テーマは専門学校における教育とキャリア形成です。日本の中心的職業教育機関といえる専門学校における教育やキャリア形成の実態や意義の解明を進めるために、専門学校関係者に対するさまざまな調査を実施しています。



勝山 吉章 教授

専門分野
「西洋教育史」

主としてフリードリヒ・フレーベルについて研究しています。1840年に世界で初めて幼稚園を設立したフレーベルは、遊びに教育的意義を認め、遊具や遊戯を開発しました。従って、遊びや遊具の教育的意義についても研究しています。



坂本 憲治 准教授

専門分野
「臨床心理学」「多職種協働」
「キャリアカウンセリング」

主に青年期・成人期を対象とした心理支援の研究をしています。一対一の関係の中で行う治療的カウンセリングだけでなく、健康な人々の成長に役立つカウンセリングや、多職種と協力して行うチームアプローチに関心を持っています。



佐藤 仁 教授

専門分野
「比較教育学」
「教師教育」

アメリカ合衆国を中心に、諸外国の教育制度や教育政策を研究しています。特に、教員養成の質を保证する仕組みに関心があり、諸外国の実態を分析して、日本の教員養成制度への示唆を導き出すことを目指しています。



田村 隆一 教授

専門分野
「フォーカシング指向心理療法」
「夢フォーカシング」
「カウンセリング」

カウンセリングの技法の一つであるフォーカシングを研究しています。まだはっきりと言葉にならない感覚に注意を向けて、そこから生まれるものを大事にする方法です。フォーカシングによる夢分析も研究しています。



徳永 豊 教授

専門分野
「特別支援教育」
「臨床心理学」
「障害支援心理学」

「障害の重い子どもとの授業における目標設定と学習評価」や「障害のある子どもの早期発達支援」など、乳幼児の発達研究を基礎としつつ、近年は障害のある人の就労支援も含め、幅広く研究・活動しています。



藤田 由美子 教授

専門分野
「教育社会学」
「『ジェンダーと教育』研究」
「子どもの社会学」

これまでの研究テーマは以下の通りです。(1)幼児期における子どものジェンダー構築、(2)幼児教育・保育・子育て支援におけるジェンダー問題、(3)子ども向けメディアに描かれるジェンダー。



松永 邦裕 教授

専門分野
「子どもの心理臨床」

不登校や発達障害、被虐待の子どもなど、子どものさまざまな問題を発達の視点(子どものそだち)から捉え、臨床心理学的な援助の在り方について実践的な研究を行っています。



本山 智敬 教授

専門分野
「臨床心理学」
「パーソンセンタード・アプローチ(PCA)」
「エンカウンター・グループ」

ロジャーズのPCAを臨床の基盤とし、カウンセラーの傾聴の態度の育成、またエンカウンター・グループを中心としたグループ・アプローチを学校現場や組織の人間関係づくりに生かすための実践と研究を行っています。



山岸 賢一郎 教授

専門分野
「教育学」
「教育哲学」
「道徳教育学」

教育や道徳教育について哲学をしています。例えば、道徳教育が有意義かつ道徳的なものであるための条件について考えたり、道徳科の授業をより良いものにするための方法について考えたりしています。



伊藤 亜希子 教授

専門分野
「異文化間教育学」
「比較教育学」

異なる文化的背景を持つ人々が共に生きるために、どのような教育支援を行うことができるのか、ドイツと日本における理論、政策、実践を研究しています。多文化共生のまちづくりにも関心を寄せています。



高妻 紳二郎 教授

専門分野
「教育行政学」
「教育経営学」

英国を素材に、教育を支えるさまざまな仕組み(制度、行政等)の評価・改善に関して、従来型の公教育システムが変容し地方教育行政の枠から飛び出て台頭するニュータイプの公教育の功罪を実証的に研究しています。



添田 祥史 教授

専門分野
「社会教育・生涯学習」
「成人基礎教育」

夜間中学や識字教室を主たる研究フィールドにしています。何らかの事情で学齢期に教育を受けることができなかった人の学習権保障に関心があります。



長江 信和 准教授

専門分野
「臨床心理学」

インターネットを介した遠隔心理支援(遠隔カウンセリングやアセスメント、コンサルテーション、心理教育)の開発および効果検証を行っています。また、公認心理師の資質向上についても研究テーマとしています。



満身 史織 講師

専門分野
「臨床心理学」
「子育て支援」
「コミュニティ・アプローチ」

乳幼児を育てる親や、学童期の子どもに対して地域に出向いて、居場所づくりを中心とした予防的支援の活動を実践しながら、そのより良い方策について研究しています。



吉岡 久美子 教授
(村上 久美子)

専門分野
「メンタルヘルスリテラシー」
「福祉心理学」
「教育・学校心理学」

“生涯にわたる心の健康”について、QOL(Quality of life)を基軸に研究を進めています。特に、児童・思春期の支援に関する国際比較研究と高齢期の支援に関する研究(認知症、ケアラーのケア、チームアプローチ)への関心が高いです。

教育・臨床心理学科Q&A

Q1 トラック制についてもう少し教えてください。

A1 24ページのイメージにあるように、本学科のトラック制は自分の将来のキャリアを意識して選択し、そのトラックの授業を中心しつつ、他のトラックの授業も履修できる仕組みです。実習科目はそのトラックに所属している学生しか履修できませんが、それ以外は大きな制限はありません。トラック選択は、1年次の終わりに行います。例え入学時にはまだ自分

のキャリアについて漠然としか考えられていなくても、トラック選択までに、「キャリア形成基礎論I」という授業で、各トラックについて学んだり、自分の将来のキャリアについてしっかり考えたりする機会を設けています。なお、特定のトラックに希望が集中した場合には、GPA(1年次の成績)で振り分けることもあります。

Q2 教育学と臨床心理学の両方を学ぶことの良さって何？

A2 本学科の学びの基礎は、教育学と臨床心理学によって作られます。中には、「教育学だけ学びたい」「心理学だけ学びたい」という人もいるでしょう。ですが、この2つを学ぶことは将来に大きな可能性を開くことになります。先輩の声を聞いてみましょう。



先輩Aさん
(スクールカウンセラー)

心理職として働くには、「心理学のことだけ知っていればいいというわけではない」ということを教育学の授業を通して気付かされました。子どもを取り巻く学校や社会の抱える課題について理解を深めたことは、子どもと向き合うためにも必須だと思います。



先輩Bさん
(民間企業)

私はチームで仕事にあたることが多く、教育学の授業で体験したグループでの調査や集団と個の心理についての学びは、チームの雰囲気をつくったり、チームを引っ張っていったりするときに、とても役に立っています。



先輩Cさん
(小学校教諭)

教育学の学びはもちろんですが、臨床心理学の授業を通して学んだ「カウンセリングマインド」や「傾聴のスキル」は、自分が子どもに向き合う姿勢の基礎となっています。そのため、落ち着いて子どもや保護者と向き合うことができています。



どうでしょう？教育学と臨床心理学の両方を学ぶ良さ、少しは感じられるでしょうか。

Q3 3つのトラックに分かれる中で、教育学と臨床心理学の両方を具体的にはどのように学びますか？

A3 トラック制のメリットは、トラックを越えて授業を取ることができる点です。それを生かして、時間割を作ります。



公認心理師トラック 3年次生

公認心理師の資格を取ってスクールカウンセラーとして働きたいから、学校教員トラックの授業もたくさん取っています。

時間割[前期]					
	MON	TUE	WED	THU	FRI
1	心理学実験				
2		関係行政論	心理学的支援法		グローバル化と教育
3	多様性の教育学	社会・集団・家族心理学			教育福祉論
4				専門演習I	
5		法と子どもの権利	精神疾患とその治療		



学校教員トラック 3年次生

学校現場を知り、実践力のある教員になりたい。キャリア教育にも関心があります。

時間割[前期]					
	MON	TUE	WED	THU	FRI
1					
2	カリキュラム実践論	人文地理学A	教育デザイン実習		グローバル化と教育
3	生徒指導論	教育方法とICTの活用			
4		専門演習I	社会科教育法I	キャリア教育論	
5			教育相談	学習・言語心理学	自然地理学A



キャリアデザイントラック 3年次生

地域で人を支える仕事ができるようになりたいから、生涯学習について学んでいます。

時間割[後期]					
	MON	TUE	WED	THU	FRI
1					
2				学習方法開発論	産業・組織心理学
3	障害者・障害児心理学	キャリアカウンセリング	教育福祉論	教育社会学	
4		社会教育学	生涯学習概論B	専門演習II	国際化と日本
5	労働と法制度		社会教育演習B		



キャリアデザイントラック 2年次生

インターンシップ実習で企業のことを知って、将来は人材育成の仕事に就きたいです。

時間割[後期]					
	MON	TUE	WED	THU	FRI
1	生涯スポーツ論	中国語IIA	キャリアデザイン実習		
2	教育の原理・課程論	インターミディエイト・イングリッシュII		インターミディエイト・イングリッシュII	生涯学習概論B
3	社会学B	キャリア形成基礎論II		経済学B	産業・組織心理学
4		社会教育学		教育福祉論	中国語IIB
5					教育・学校心理学

■各トラック専門科目: 公認心理師トラック系科目 キャリアデザイントラック系科目 学校教員トラック系科目 ※授業の開講時期はイメージです。年次によって開講時期や時間割は変わる可能性があります。

英語学科

Department of English

高度な英語力を身に付け、
国際的な視野や異文化への
理解力を持つ
グローバルな人材に。

英語学科では、「文化・文学」「英語・英語教育」「グローバル・コミュニケーション」の三つの領域を総合的に学び、広い教養と深い専門知識を身に付けグローバル社会に貢献できる人材となれるよう学んでいきます。そのために、国際社会に積極的に参加することができる英語運用力を身に付け、IELTSやTOEIC®等の資格試験で高いスコアを得ることも目標になります。さらに「グローバル・キャリア科目群」を通して、自分の将来のキャリアを主体的に考えます。

取得可能な主な資格

- 中学校・高等学校
教諭一種免許
- 日本語教員

福岡大学 人文学部 Webサイト >



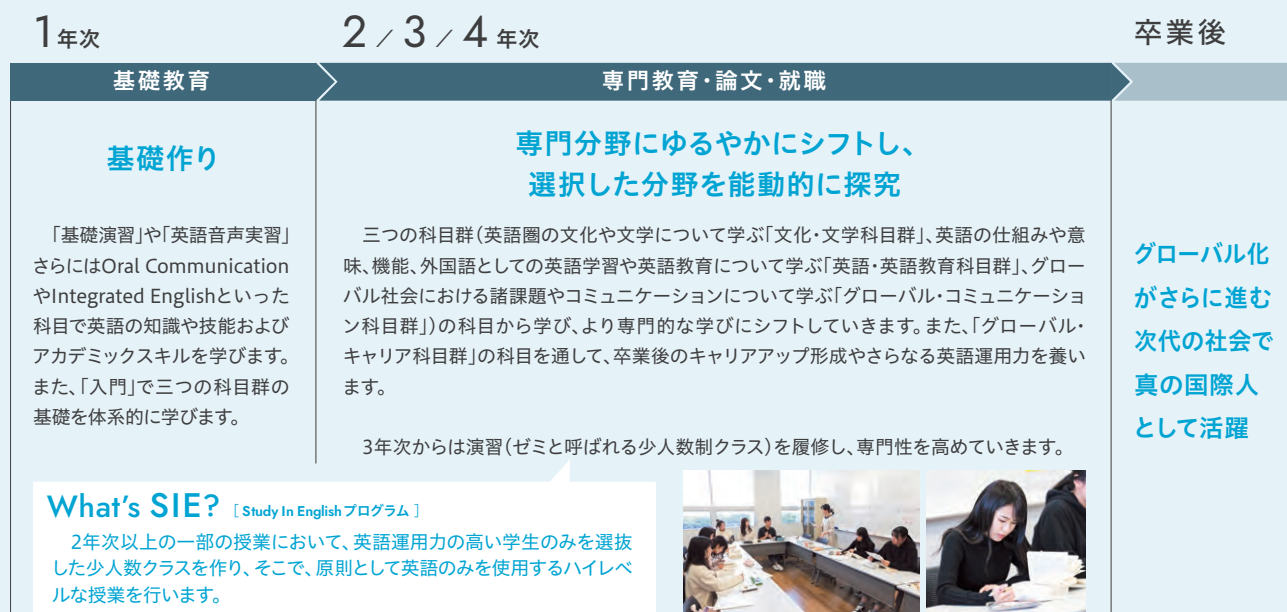
求める人材像（求める能力）

A	知識・理解	高等学校の教育内容を身につけており、さらに英語の学習を深めてゆくのに十分な基礎学力を有している人
B	技 能	学習や課外活動から得た経験を踏まえて、自らの視点で物事を順序立てて説明することができる人
C	態度・志向性	広い教養と深い専門知識を身に付け、国際社会、地域社会に貢献したいと考えている人
D	その他の能力・資質	自己研鑽により、英語の資格を取得した人やスポーツ活動・競技会等で顕著な成績をおさめた人

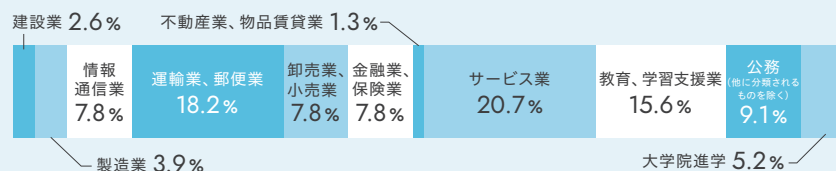
求める人材像
（求める能力）
の詳細は



英語学科での4年間



主な就職・進路先（2023年度卒業生実績）



●人文学部の主な就職先は **53ページ** >

在学生の声

スピーキングへの苦手意識を克服！
積極性が磨かれた「英語圏文化研修」

Q1 この学科の魅力は？

イギリス、アメリカ、オーストラリア、カナダ出身の専任の先生方がおり、本場の英語に触れられる点です。入学前はスピーキングが苦手でしたが、先生方と会話をする中で次第に得意になり、スキルアップにつながりました。また「文化・文学コース」では、語学だけでなく異文化理解を深めるための知識も習得できます。

Q2 好きな授業は？

3年次の「英語圏文化研修」です。カナダのアルバータ州にあるカルガリーに行き、ホームステイをしながら現地の大学に通いました。英語オンリーのコミュニケーションをするため語学力が上がったことはもちろん、性格まで変わったと周りからも言われます。とても積極的に行動できるようになり、殻を破った感覚です。今の自分が、とても好きです。



江口 美香子 さん

人文学部 英語学科 3年次生
福岡県 小郡高校出身

※2023年取材時の情報です。

🕒 時間割 [3年次前期] (例)

	MON	TUE	WED	THU	FRI
9:00			観光・ビジネス英語		
10:40		英語読解ⅡA			アジアの文学A
13:00	英語文学と社会A	英語圏地域研究A			
14:40	アメリカ文化・文学演習ⅠA		アメリカ文化各論A		イギリスの文化と文学ⅡA
16:20	英語圏文化研修				

その他カリキュラムの詳細は >



卒業生の声

教師になるために社会人入学を決意。
英語学科での学びが自分の武器になった。



石橋 翔馬 さん（2020年卒業）

春日市立春日南中学校

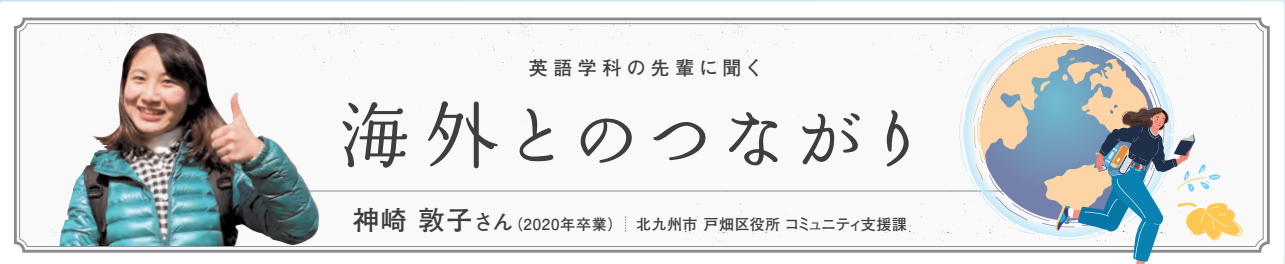
※2023年取材時の情報です。

高校卒業後は民間企業に勤めていましたが、20代半ばで英語教師を志し、「社会人入試」の制度で本学科に入学しました。現在は公立中学校で英語を教えています。大切にしていることは、「生徒が主役」の授業をすること、生徒とのコミュニケーションです。特に、一人一人の成長や安心感につながる言葉のキャッチボールを心掛けています。

その上では、卒業論文を書いた経験が役に立っていると感じます。自分の主張を総論と各論に分けて伝えることで、何を言いたいのが明らかにしながら生徒と話せるようになりました。また、大学では発声を理論的に分析する「英語音声学」を専門的に学びました。スピーキング重視の英語学習を考える際、ここで身に付いたスキルが役に立っていること

は間違いありません。また、留学はしなかったのですが「アメリカ文化文学演習」でアメリカ文化に触れたことも、良い学びとなりました。





🌍 リーズ大学 🇬🇧 への交換留学

中学時代に国際協力や海外との文化交流に興味を持ち、大学1年次に海外で国際協力ボランティアを経験。そして3年次生の8月、イギリス・リーズ大学の交換留学に参加しました。イギリスはフェアトレードや環境保護活動の先進国であり、リーズ大学では国際関係学や環境学、SDGs関連分野など、さまざまな学問の中から興味のある科目を選択することができます。私は主にSDGs関連分野を履修し、授業やグループワーク、



湖水地方へ旅行

フィールドトリップを通じて実践的な学習を進めました。特に印象的だったのは、日本文化を紹介するイベント「桜フェスティバル」を日本人留学生のみで企画・実施したことです。イベントの会場探しからクラウドファンディングでの費用集め、集客の



桜フェスティバル

ための広報活動、収益を北海道地震の被災地に寄付するところまで、一連の運営に携わりました。日々意見を出し合い、協力しながら一つのイベントを成功に導けたことは、とても貴重な経験となりました。

留学中は同じフラット(寮)で暮らす仲間との交流も大切にしました。最初はありのままの自分を出すことが難しかったのですが、共に試験勉強に取り組み、誕生日会や旅行などたくさんの思い出を重ね、いつしか何でも話せるようなかけがえのない友情を築くことができました。

🌍 留学中の学びと就職活動

留学生活は、想像をはるかに超えて有意義なものでした。さまざまなバックグラウンドを持つ人と関わる中で、考え方の幅や価値観が広がり、コミュニケーション能力も向上したと思います。また、SDGs関連分野を深く学ぶうちに、将来はSDGsに積極的に取り組んでいる地方行政に勤めて地域創生に貢献したいと思うようになりました。留学期間後半から

は、公務員試験の教材を取り寄せて現地で勉強を始めました。以前は、挑戦したいことがあっても先のことを考え過ぎてためらっていたのですが、留学経験から「どんなこともまずはやってみよう!」という積極的な姿勢が身に付き、帰国後は福岡県内で開催されているセミナーや講演会に参加して、将来への考えをより深めることができたと思います。

🌍 社会で生きている大学での経験

就職活動を進める中で、地元である北九州市の持続可能なまちづくりが世界のモデル都市として注目されていることを知り、市政に貢献したいと考えました。現在は市民センターの管理運営に携わっています。仕事で難しいことがあっても、めげずに自分で調べ抜く精神力や周りを頼る積極性は、英語で進む授業についていけず悔しい思いをし

た留学経験で養いました。また、留学先で多種多様な国籍の人々と出会い、さまざまな考えに触れたことで一人一人の個性を受け入れられるようになり、円滑なコミュニケーションが求められる今の仕事にも役立っています。



🌍 高校生へのメッセージ

有意義な留学生活を送るためには、まず自分の心の声と向き合い、留学の目的や経験したいことを明確にしておく作業が大切です。この取り組みは、後に控える就職活動にもきっと役立ちます。この留学で得た貴重な経験や、さまざまな国籍の人々との出会いは、自分自身を成長させるきっかけとなりました。そして、新たな物事の見え方や視点に気付かされました。また、今まで過ごしてきた環境から長期間離れることで、多くの方に支えられているありがたみを身に染みて感じることもできました。学外での学びや異文化交流には、不安や困難があるかもしれませんが、その逆境を乗り越えた経験は、必ず大きな心の支えとなります。皆さんが夢に向かって一歩踏み出すことを心から応援しています。



フラットメイトの誕生日会



英語圏文化研修

University of Calgary

英語学科では、カナダのカルガリー大学での海外研修を「英語圏文化研修」としてカリキュラムに組み込んでいます。期間は8月から9月にかけてです。英語運用能力の強化とともに、異文化を体験して国際感覚を養うことを目的としたプログラムで、2年次以上の学生が参加できます。この研修の最大の特徴は次の通りです。

- ✓ 事前・事後学習を通して渡航前に十分な準備ができるとともに、研修で身に付けた英語力を持続・発展させることができる。
- ✓ 全行程に英語学科専任教員が引率として同行するので、海外生活が初めての学生も安心して参加できる。
- ✓ ホームステイを通して現地の生活を学べる。
- ✓ 各国からの留学生と共に学ぶことによって、国際感覚を身に付けることができる。



🇨🇦 Summer Homestay Adventure in Canada

Larry Kimber

English Department students, who sign up for this program, will spend four weeks in August studying English at the University of Calgary. You will make friends with a number of international students on campus and learn many things about Canadian culture as well. Your English skills will certainly improve and you will have wonderful experiences being in a homestay and enjoying the natural beauty of the Canadian Rockies. Some activities you will take part in include, for example, hiking, camping, horseback riding, and white water rafting. Your summer in Canada will be an adventure you will never forget.

参加者のメッセージ

森田 架(英語学科3年次生)



東京タワー級の高さを誇るタカカウ滝にて

全てが新鮮、全てが楽しい、出会いと学びに満ち溢れた1カ月でした。福岡大学の仲間と過ごす時間よりもカルガリーで出会った人との時間の方が多く、最初は不安でいっぱいでした。日本との文化の差異、授業がアクティブなことなどへの戸惑いはたくさんありましたが、授業でたくさん発言したり、アクティビティなどに率先して参加したりすることで、よりカルガリーライフを楽しめました。是非皆さんも日本では味わえない文化や大自然を現地で楽しんでください。

Enjoy your life in Calgary !



教員・研究の紹介

■英語学

久保 善宏 教授 専門分野／英語学(統語論)
英語と他の言語における統語事象を考察し、各言語間に見られる統語的差異の説明を試みることによって、英語の普遍性と個性の解明を目指しています。

古賀 恵介 教授 専門分野／英語学
英語の文法・語法の背後にある意味の構造を、認知言語学という分野の理論を用いて分析しています。

白谷 敦彦 教授 専門分野／英語学(語法研究)
英語を学習していてみんなが抱く疑問を解決すべく研究しています。例えば、朝・昼・夕はin the morning, in the afternoon, in the eveningなのに夜だけat nightなのはなぜか、「コンピュータで」はon/in/by/with a computerの4つがあるが、その使い分けはどうなっているのか、などです。

長 加奈子 教授 専門分野／英語学
英語の文法や語彙の意味、日本人英語学習者の英語の特徴をコーパスを用いて分析しています。

竹安 大 教授 専門分野／英語学(音声学・音韻論)
主に実験音声学・実験音韻論の観点から、英語と日本語の音声知覚・産出に関する分析を行っています。

 **スティーブン・ハウ 教授** 専門分野／英語学(History of English)
I am currently working on primary universals of human language, which means the essential characteristics that all human languages share. I am also interested in how we communicate 'yes' and 'no'.

毛利 史生 教授 専門分野／英語学(統語論)
英語の研究を日本語やロマンス系言語に照らし合わせながらやっています。特に生成文法という理論に基づいて、形式と意味の関係を明らかにしようとして奮闘しています。

山田 英二 教授 専門分野／英語学・音韻論
英語および日本語の音声・音韻の研究を行っています。日本語では、語や句におけるピッチアクセントの配置について、英語では、語や句における強勢(ストレス)の配置について、いずれも生成文法の枠組みで分析を行っています。

■イギリス文化・文学

井石 哲也 教授 専門分野／イギリス文化・文学
皆さんはイギリスという国に興味がありますか?「小説」(フィクション)という文学ジャンルが勃興したとされる18世紀という古い時代とそれ以降のイギリスの文化・文学が私の研究対象です。

園田 暁子 教授 専門分野／イギリス文化・文学
イギリス・ロマン派を中心とする、18世紀～19世紀のイギリス文学を対象とし、著作権の成立・発展を思想史、文学史の中で捉えなおすことを目指して研究しています。

鶴田 学 教授 専門分野／イギリス文化・文学
シェイクスピアを中心とした英国演劇について研究しています。

福原 俊平 教授 専門分野／イギリス文化・文学
19世紀イギリスにおける、小説と文化の相互関係を研究しています。具体的には、トマス・ハーディという作家の小説を中心に、「文学と建築」、「文学と身体」などを研究テーマとしています。

渡部 智也 准教授 専門分野／イギリス文化・文学
19世紀イギリスの小説家、チャールズ・ディケンズの小説を中心に研究しています。現在は、作品に描かれる「眠り」の描写の役割とその意味の解明を研究テーマとしています。

岩崎 雅之 准教授 専門分野／イギリス文化・文学
20世紀のイギリス小説(E. M. フォースター、ヴァージニア・ウルフ、カズオ・イシグロなど)について研究しています。また、小説を題材にした映画も研究対象としています。

 **ジェシカ・シーモア 講師** 専門分野／イギリス文化・文学
Children's and Young Adult Literature, Tolkien Studies, Popular Culture, and Literary Adaptation

棚町 温 講師 専門分野／イギリス文化・文学
イギリスの初期近代演劇(ウィリアム・シェイクスピアなど)と現代演劇(キャリル・チャーチルなど)について研究しています。

船田 佐央子 講師 専門分野／イギリス文化・文学
19世紀イギリスの小説家ディケンズの文体について研究しています。主にメタファー(隠喩)やシミリー(直喩)など、作品の中に見られる比喩表現に着目し、認知言語学的観点からその仕組みを解明することをテーマにしています。

英語学科に所属している教員をご紹介します。
※2024年4月1日現在

■スピーチ・コミュニケーション

一瀬 陽子 教授 専門分野／第二言語習得、PBL(課題解決学習)、キャリア教育、AI活用人材育成
母語を獲得した後、第二言語や第三言語を学ぶ際のメカニズムの解明について研究しています。

伊藤 益代 教授 専門分野／言語学、言語習得、統語論、スピーチ・コミュニケーション、語用論
子どもや大人がどのように意味論的、語用論的解釈をしているのか研究しています。面白い内容ですよ。

大津 敦史 教授 専門分野／英語教育学
e-learningを中心とするマルチメディアを利用した英語教育の研究と実践、その他英語教育方法論全般。

奥田 裕司 教授 専門分野／英語科教育法、学習環境デザイン、教材開発
英語学習者が学習を楽しい気持ちで持続的・自発的に進めていく為にはどうすれば良いのでしょうか。「英語学習の楽しさを引き出す学習環境デザイン」に焦点を当てた研究や学習システム・教材開発を進めています。

 **ラリー・キンバー 教授** 専門分野／TESOL, Computer Assisted Language Learning (CALL)
The Role of Computers for Teachers and Learners in Second Language Education: Theory and Practice

 **ティム・クロス 教授** 専門分野／Critical Media Literacy, Cultural Studies
Critical Media Literacy, Cultural Studies, The Politics of Local Identity and National Culture, 茶道南坊流、博多祇園山笠

福田 慎司 教授 専門分野／英語教育学
多くの日本人にとって外国語である英語をどのように学べば効果的に身に付けられるのか研究しています。

 **松尾 キャサリン 教授** 専門分野／Speech Communication
Intercultural Communication and Intercultural Communicative Competence Development, Dialogic Linguistics and Meta-Linguistics, Development of a Dialogic Pedagogy for Foreign Language Education, Dialogic Analysis of Classroom Discourse, Debate Education, Communication as Persuasion, Democracies, Ethics and Rhetoric

 **スー・ジェシー 准教授** 専門分野／Sustainability in Everyday Life
I am interested in how urban culture changes though communication, in all its forms. My research focuses especially on 'sustainability in everyday life' happening within cities.

■アメリカ文化・文学

秋好 礼子 教授 専門分野／アメリカ文化・文学
現在は、19世紀中・後期アメリカ文学における身体的差異表象に焦点を当てています。また、単行本として出版された小説だけでなく、当時の新聞や雑誌にも目を向けています。

大島 由起子 教授 専門分野／アメリカ文化・文学
アメリカ文学(メルヴイル、北米先住民)について研究しています。

 **ジェファソン・ピーターズ 教授** 専門分野／アメリカ文化・文学
Children's Literature, Fantasy, Popular Culture, and Comparative Literature and Culture

高橋 美知子 教授 専門分野／アメリカ文化・文学
スコット・フィッツジェラルドなどの20世紀のアメリカ小説を中心に研究をしています。最近では作品の中に隠れている弱者の声の発掘や、小説の成立と出版業界のかかわりなどに興味を持っています。

光富 省吾 教授 専門分野／アメリカ文化・文学
アーネスト・ヘミングウェイ研究、ジャック・ケルアックを中心とするビート・ジェネレーション研究、アメリカ映画を題材にした文化の研究をしています。

坂井 隆 准教授 専門分野／アメリカ文学、特に演劇分野
主な研究対象はアメリカの近現代演劇で、特に今は、アメリカを代表する劇作家テネシー・ウィリアムズに興味を持っています。また、舞台芸術自体の限界と可能性、つまり、舞台上で表現できるものをどこまで拡張できるのか、といった美学的な問題にも関心を持っています。

銅堂 恵美子 准教授 専門分野／アメリカ文化・文学
ウィリアム・フォークナーやトニ・モリスンを中心に、人種やジェンダーの問題に興味を持って研究しています。

樋渡 真理子 准教授 専門分野／アメリカ文化・文学
アメリカ文学全般、特に南部文学とウィリアム・フォークナーという作家を研究しています。トランスナショナル文学、移民文学、アジア系文学にも関心を持っています。

英語学科Q&A

Q 英語学科の情報などはどこで調べられますか?
A 専用ウェブサイトを開設しています。学科の特色やカリキュラム、英語学科ブログなど、以下のリンクからぜひチェックしてみてください。

人文学部英語学科 ウェブサイト
<https://www.hum.fukuoka-u.ac.jp/eng/>



より素早い学科情報提供のため、Xアカウントも設置しています。学科の教員がつぶやいています。こちらもぜひチェックしてみてください。

 人文学部英語学科 公式アカウント
https://twitter.com/Fukudai_LE



Q 留学の制度はどうなっていますか?
在学中に留学できますか?

A 留学には、[英語学科独自の留学プログラム](#)である[英語圏文化研修](#)の他、[交換留学](#)、[海外研修](#)、[認定留学](#)の3つがあります。

● [英語圏文化研修\(カルガリー研修\)](#)は、[英語学科独自](#)の海外研修プログラムです。夏期休暇中に[カナダに1カ月弱](#)滞在します。助成金の支給や単位認定もあり、英語学科の学生の間でも人気の留学プログラムです。(詳しくは31ページ)。

● [交換留学](#)は、期間では[1年間](#)で、協定校は英語圏では英国に3大学あります。選考試験がありますが、派遣学生には留学助成金が支給され、留学先大学での授業料が免除されます。留学先で取得した単位は本学の単位として認められます(ただし、全てではありませんので、なるべく本学のカリキュラムと類似する科目を選択することが肝要です)から、4年間で本学を卒業することが可能です。

● 全学部を対象とした[海外研修](#)は[1カ月弱](#)で、英語圏の研修先は英国に1大学、米国に2大学、豪州に1大学あります。選考や助成金の有無は派遣先により異なります。

● [認定留学](#)は、事前に本学の許可を得て留学する制度です。学費は本学と留学先の両方に納入する必要がありますが、単位認定が可能です。

Q 授業(での使用言語)は英語ですか?

A ネイティブスピーカーの先生の授業は、基本的には英語になります(英語学科教員のうち**7人**がネイティブスピーカーです)。そうでない場合は日本語になることが多いですが、英語で授業がなされることもあります。例えば、[SIE\(Study In English\)](#)プログラムでは、2年次～4年次の専門教育科目の一部において、英語能力の高い学生のみを選抜した少人数クラスを作り、そこで、原則として英語のみを使用するハイレベルな授業を行っています。



Q 学生生活や授業などについて、先生に相談することはできますか?

A 英語学科では、3人から4人の学生に対して1人の教員が指導する「[アドバイザー制度](#)」を導入しています。学習についてはもちろん、学生生活全般についてもきめ細かに対応しています。また、教員にはそれぞれに[オフィスアワー](#)が設けられていますから、その時間であれば(予約をとれば他の時間でも)自由にオフィスを訪ねることができますよ。

Q 「ゼミ」とは何ですか?

A [ゼミ\(演習\)](#)とは3・4年次の2年間を通して、同じ教員の下で、専門性を深める授業の事です。各ゼミは10人程度の少人数制であり、学生一人一人にきめ細かな指導が行われます。気心の知れた仲間と活発に意見を交わすことにより、コミュニケーション力も高まります。さらに広く、深く学ぶことを目指して、複数のゼミに所属することもできます。
2024年度開講ゼミ(一部)のテーマは以下をご覧ください。

■英語学演習

- 身近なところに潜む音声現象の分析
- 英語学習を科学する

■スピーチ・コミュニケーション演習

- 言語心理学―ヒトのこころの仕組みや言語習得を考えよう
- Talking about Japanese-ness in English: critical media literacy examines national identity

■イギリス文化・文学演習

- カズオ・イシグロの作品読解を通じ、ひろく現代社会のあり方を研究
- ウィリアム・シェイクスピア: 英語・英文学の礎の一つとして

■アメリカ文化・文学演習

- American Dream とは何か
- ブロードウェイ・ミュージカル研究



Q 英語が使える職業に就けますか?

A 英語が使える職業というと、英語インストラクター、通訳、翻訳家、ツアーコンダクター、ジャーナリスト、ホテル・スペシャリスト、商社マン、航空管制官、外国と関わる政府機関・民間団体のスタッフといった職業が思い浮かぶでしょう。しかし、一見海外と関係のなさそうな企業や一般消費者になじみのない企業であっても、製造拠点や取引先を海外に持ち、日常的に海外とのやりとりがあるところもたくさんあります。将来を考える際には、まず視野を広げてみるのが大切です。[将来英語を使う職業に就きたい]と希望される方は、ぜひ本学科スタッフやキャリアセンタースタッフと話をしてみましょう。どのような業界に進むにしろ、共通して必要となるのは、まず、基礎がしっかりとした英語力です。また、コミュニケーションをとる上では、相手の宗教・文化・風俗・慣習・政体などを知っておくことが必要となってきますし、聴く・話す以外にも読む・書くことを正確にこなすことが要求されます。このような総合力をぜひ身に付けてください。また、英語学科には語学力を生かして活躍している卒業生が各方面にいますから、コンタクトをとって勉強方法などを聞くのもとても参考になると思います。

ドイツ語学科

Department of German

ヨーロッパの真ん中へ！

多様性を学ぶ「ヨーロッパ特別コース」

思考と表現の力を鍛える「ドイツ語圏コース」

ドイツ語をナビゲーターに、21世紀を歩いて行こう。

初歩から学ぶドイツ語と、幅広い運用能力を培う英語。留学生と多言語で学ぶ、日本と欧州文化。

確かな語学力と、多様な価値観の理解に裏打ちされた、他者との交渉に堪える力を身に付け、ドイツ系企業やドイツの日本企業で活躍しましょう。

大学院に進学することで、語学力と問題解決能力にさらに磨きがかかります。

取得可能な主な資格

- 中学校・高等学校
教諭一種免許
(ドイツ語)
- 日本語教員

福岡大学 人文学部 Webサイト



求める人材像 (求める能力)

A	知識・理解	高等学校の教育内容を幅広く学習し、ドイツ語圏文化を学ぶに十分な基礎学力を有している人
B	技 能	学習や課外活動から得た経験を踏まえて、自らの視点で物事を順序立てて説明することができる人
C	態度・志向性	ドイツ文化に関する高度な専門知識を身に付け、グローバルな社会で活躍する社会人になることへの夢を持ち、専門知識を社会のために積極的に活用したいと考えている人
D	その他の能力・資質	自己研鑽により、英語の資格を取得した人やスポーツ活動・競技会等で顕著な成績をおさめた人

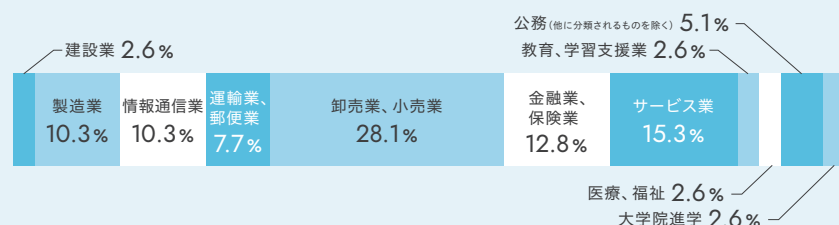
求める人材像
(求める能力)
の詳細は



ドイツ語学科での4年間

	1年次	2年次	3 / 4 年次	卒業後
	基礎教育	専門教育	専門教育・論文・就職	
ヨーロッパ特別コース	「ヨーロッパ学入門」でヨーロッパの成り立ちと今を学ぶ。「日本語リテラシー」で自国文化の発信力を養う。	留学生との共同授業、ドイツ語圏現地研修や留学を通じて、ヨーロッパの文化に親しみ、コミュニケーション、プレゼンテーション力を伸ばす。	ヨーロッパの言葉と文化の理解をさらに深め、英語やドイツ語を基底言語としたゼミを通じて、外国語でのプレゼンテーションや議論の能力を養う。	ヨーロッパと日本の懸け橋となって国際舞台で活躍する人に
ドイツ語圏コース	「ゲルマニスティク入門」でドイツ、スイス、オーストリアなど、ドイツ語圏文化への関心を養う。	ドイツ語圏現地研修でドイツを身近に体験し、文化の違いを肌で感じることで、複眼的思考力の基礎を作る。	地域文化・言語文化・表象文化に関するゼミを選択し、関心あるテーマを深めていく。ゼミでの討論や論文作成を通じて、問題解決能力を高める。	複眼的思考力を養いグローバル化社会を舞台に活躍する人に

主な就職・進路先 (2023年度卒業生実績)



●人文学部の主な就職先は [53ページ](#)

在学生の声

ドイツ語圏の言語や文化に触れながら
充実した「交換留学プログラム」で憧れの地へ。

Q1 この学科の魅力は？

ドイツ語だけでなく、ヨーロッパの言語や文化に幅広く触れることで、多角的な視点を持つことができます。また、ドイツ留学を夢見ていた私にとって、「交換留学プログラム」が充実し、休学せずに2年次から挑戦できる点もとても魅力的でした。現地では初めての海外暮らしや慣れないビザ申請を通じて、自分で考え行動する自律力が磨かれました。

Q2 好きな授業は？

「ゲルマニスティク入門」の授業では、ドイツ発祥のボードゲームを用いて伝統文化を体験しました。家族で過ごす時間を大切にしているドイツでは、昔からボードゲームを団らんの手段として使っているそうです。身近な習慣を楽しく学んだことで、ドイツ留学への憧れがより強くなり、ドイツ語圏文化への関心も高まった授業でした。



藤家 未来 さん

人文学部 ドイツ語学科 2年次生
福岡県 九州産業大学付属九州高校出身

※2023年取材時の情報です。

🕒 時間割 [1年次前期] (例)

	MON	TUE	WED	THU	FRI
9:00		芸術A	ゲルマニスティク入門A	ミクロの生物科学	
10:40	ドイツ語 I A	日本文学A 教養ゼミ	生涯スポーツ演習 II	統計入門	
13:00		フレッシュマン・イングリッシュ I	文化人類学A		心理学A
14:40	西洋史概説A	ドイツ語基礎会話A		ドイツ語 I A	
16:20				ドイツ語基礎演習A	フレッシュマン・イングリッシュ II

その他カリキュラムの詳細は



卒業生の声

分からない言葉に出会ったらすぐに調べる。
“自分の言葉”で語る力は、在学中に身に付いたスキル。



太田 江莉奈 さん (2019年卒業)

株式会社サンミュージック福岡

※2023年取材時の情報です。

幼い頃からクラシック音楽が好きで、有名な音楽家たちを多数輩出しているドイツについて詳しく学びたいと思い、進学を決めました。卒業後は芸能事務所に所属し、テレビ番組のリポーターやラジオのパーソナリティ、舞台や映画、モデルなど、福岡を中心に幅広く活動しています。

在学中は、日本語でも外国語でも、分からない単語や言い回しがあったらすぐに調べて実際に使い、「自分のものにする」ことを徹底していました。テレビやラジオなど人前で話す仕事をする上では“自分の言葉”としての発言が重要なので、こうした習慣が大いに役立っています。最も印象に残っているのは、ゼミの研究活動でボードゲームを使ったことです。周りと話し合うことで仲間との絆が深まり、同

時に考える力も養われました。ドイツ語クラブという愛好会に参加するなど、自分のコミュニティを拡げることにも力を入れた学生時代でした。



学びの流れ

1年次生 学びのはじまり

「ドイツ語IA, IB」でドイツ語の基礎を身に付けます。「ゲルマニスティク入門」または「ヨーロッパ学入門」でドイツ、ヨーロッパについて広く学びましょう。4年間、ドイツ語圏および、ヨーロッパについて段階的かつ専門的に研究するための第一歩です。

2・3年次生 現地研修と留学へ

「基礎講読」、「コミュニケーション基礎」から「講読」、「プレゼンテーション理論と実践」までの授業でドイツ語応用力を獲得し、「演習I」、「概論」、「特講」で専門的知識を習得しながら、考える力とまとめる力を伸ばします。「現地研修」(短期留学)でドイツ・ヨーロッパを体感することも、半年か1年間の交換留学をすることも可能です。

✈ 留学について

短期留学

費用	50万円程度(授業料とは別に負担)
場所	イエナ大学(16世紀創設の伝統校)、ホテル滞在
期間	8月(授業約3週間、研修旅行4～5日)
事前学習	出発までに、渡航とドイツ滞在に必要な基礎知識を習得します。
現地サポート	ドイツ語学科専任教員が引率。ただし、週末は自由行動のため、旅行に出た学生等には電話で対応。

交換留学

協定校	①フリードリヒ・シラー大学(イエナ大学) ②デュースブルク・エッセン大学
期間	1学期(半年)または2学期(1年)
派遣定員	各大学5人(計10人／1年)
出発	秋(10月)または春(4月)
出願資格	成績等に関する制限あり
その他	大学からの渡航費補助あり

〔留学実績〕2018年:10人(①5 ②5)
2019年:10人(①5 ②5)
2020/21年:新型コロナウイルス感染症の影響により派遣中止
2022年:8人(①5 ②3)
2023年:14人(①7 ②7)

🇩🇪「フリードリヒ・シラー大学イエナ」留学体験記



＼ドイツ語で発表！／



＼サッカー観戦も／



＼ゲーテとシラーの像／



＼ヴァルトブルク城／



田中 有紗 さん (2021年入学)

私は2023年3月から約半年間、交換留学制度を利用してイエナへ留学しました。
ある程度は日本で留学準備をしていたものの、実際には言語や生活習慣の違いに驚き、戸惑ってしまったことも少なくありません。特に授業で先生や友達の話すドイツ語は速く、初めて知る言葉や表現方法が多かったため、毎回、発言内容を理解することに必死でした。
イエナ大学の授業は、学生が自分の意見を述べながら自主的に発表するスタイルです。ドイツに到着したての頃、自分からは挨拶程度のドイツ語しか話すことができず、不安だらけでした。しかし、友人や寮生に助けてもらいながら、授業でも積極的に自分から発言するように心がけられたおかげで、次第に不安は楽しみに変わっていきました。帰国前には自分の意見をしっかり聞き手に伝えることができるようになり、帰国後は授業だけでなく就職活動においても、その経験が役に立っています。留学は他の何事にも代えがたい体験です。

3・4年次生 ゼミで専門性を高めよう

ライヒャルトゼミ

ライヒャルトゼミ紹介

中島 阿子 さん (2021年入学)

記号学は、人の世界の捉え方を言語学と構造学の観点から分析します。例えば、ある人が「この部屋寒いね。」と発言したとき、他の人はどう反応するでしょうか。共感する人もいれば、暖房を点けようとする人もいます。つまり言葉は個人の解釈により受け取り方が異なるのです。授業内では、哲学者や科学者の主張を基に、文学、映画、漫画といったメディアについての意見交換を行います。文学を研究することは、私たちが日常的に受け取る概念が、どこから来るものなのかを知る手がかりになります。記号学は言語をはじめ、神の存在や善悪といった事実が確認できないものまで、多くの対象を考察するため、人文学の幅広さと奥行きを実感できます。



堺ゼミ

都市とものがたり -芸術の舞台を探る旅-

舟木 恋雪 さん (2021年入学)



堺先生のゼミでは主に1890～1910年にウィーンの芸術家たちが書いた文章をドイツ語原文で読んでいます。自分で読みたいと思った内容を選び、それを授業で読み解いていきます。ただ翻訳をするのではなく、音読し、読解し、内容をまとめ発表するまで幅広く学び、現在では使われていないような表現に出会ったり、百年以上前の思想に触れたり、古書を読む楽しみも味わえます。このゼミは月に1回ランチゼミがあり、それがとても楽しいです。私は来年からデュースブルクに留学をします。ゼミ論として「カフカの不条理」をテーマにドイツで研究します。研究をするときは、和書だけでなくドイツ語で書かれたものも読まなければならない。そういうときに、このゼミで習った原書の読み方が大いに役に立ちます。



ランチゼミのひとコマー
こちらとかだに栄養を！

平松ゼミ

ドイツ語教授法研究

増本 愛弥 さん (2021年入学)

平松ゼミでは、「教授法」をテーマに掲げ、「理想の授業」を探っています。例えば「ドイツ語」の授業であれば、文法学習、会話練習、文化や歴史について知る講義などがありますが、授業の目的や時間数だけではなく、教員と受講者という立場の違いによっても「理想」の意味合いは変わります。そこでゼミの中では、全員が一人ずつ教師役となり、自分の興味のある事柄について実際に模擬授業を行いました。私が取り上げたのは、日本とドイツの「教育制度」。私の卒業論文のテーマです。模擬授業の後には、内容についてだけではなく、伝える情報の取舍選択や、聞き手にもっと興味を持ってもらうためにはどうしたら良いかという方法についての議論も重ねました。対話を通して、いろいろな考え方に触れたり、自分自身の考えを振り返ったりするゼミの時間は、メンバーと交流する機会も多く、さまざまな角度からその人のことを知ることができ、とても楽しいです。



4年間の集大成 卒業論文と卒業研究

「エリーザベト」像の変遷

田中 希枝 さん (2020年入学)

卒業論文では、オーストリア＝ハンガリー帝国の皇妃であったエリーザベトについて、エリーザベト像が時代とともにどのように変化し、広く親しまれる存在となったのかについて論じました。エリーザベトは、日本ではミュージカル『エリザベト』の主人公としても有名です。歴史あるハプスブルク家の厳格な宮廷の中で自由と自立を求めたエリーザベトは、暗殺されたことにより同情を集め、次第に神話化されるようになります。ミュージカル『エリザベト』については、ウィーン版と日本版の内容の比較や、ウィーン人の死生観に関する考察も行いました。論文ではドイツ語の文献や3年次の授業で接した映画作品も扱い、4年間の集大成とすることができたと思います。分析や翻訳、また、自分の考えを上手く言語化することは、論文執筆を通してより力がついたと思う部分です。私の所属しているゼミでは、ほぼ全員が卒業論文に取り組んだため、授業のたびに周りの執筆状況や他の論文の内容等について知ることができたのも良い刺激になりました。



「世界首都ゲルマニア構想」研究

古賀 奏江 さん (2020年入学)

私の卒業研究のテーマは、ヒトラーの野望であったベルリン大改造計画「世界首都ゲルマニア構想」です。1年間のドイツ留学中には、ベルリン、ニュルンベルグなどのヒトラーにまつわる地に何度も足を運び、この時代の歴史的背景の知識を積み重ねていきました。数多くの歴史的スポットを巡る自作の地図と共に、私なりのガイドでロシア、インド、日本などからの観光客を案内したりもしました。帰国後はその体験を元に資料や本を読み進め、ヒトラーの心理的部分の理解を深めるために、彼が第三帝国の建築に求めていた、古典古代のギリシア・ローマの廃墟価値や、都市国家スパルタの精神にも注目して研究をしました。図書館にあるドイツ語の資料の中から邦書には無い情報を見つけることができ、難しい箇所はドイツ人留学生がサポートしてくれました。新しい知識を探し、読み、のめり込み、自分の言葉で人に説明し、更に理解を深めることを繰り返しながら楽しく研究できたことは、4年間の集大成であり、深い思い出になりました。



卒業後のさまざまな未来 君たちの羽ばたく先は

ドイツ鉄道ICE 1等車両乗務員として勤務中！

松浦 亜沙子 さん（2011年3月卒業、ドイツ在住）

「英語以外の語学を勉強してみたい」という動機で入学したドイツ語学科では、語学だけでなく文化や歴史を学び、今まで知らなかった世界を知ることができました。特に2年次に参加した現地研修は、短期間ではあったものの、私にとって大きな刺激となりました。その際に初めてドイツを鉄道で旅行をし、鉄道旅行に魅力を感じたことから、ゼミ論では【鉄道】をテーマに日独比較をしました。

大学卒業後、ヨーロッパ旅行を専門とする旅行会社に就職し、その間にドイツ支店へ1年出向の機会を得ました。その後、再度ドイツ語をしっかりと学びなおすために語学留学し、現在はドイツ鉄道(Deutsche Bahn)に転職して、高速列車ICEの1等車両の乗務員として勤務しています。学生時代から好きだったドイツ鉄道旅行に職員として携わることができていることにとてもやりがいを感じていますし、何よりドイツ語学科での学びや経験が今につながっていると実感しています。



多言語環境で国際貿易

重松 あや さん（2017年3月卒業、西日本鉄道(株) 国際物流事業本部）

私は現在、国際貿易の仕事をしています。業務内容は、貨物を航空便・海上便のどちらで輸送するかを提案したり、海外駐在事務所の設立に携わったりと、多岐に渡っています。そうした業務のなかで共通しているのは、毎日外国語を用いている点です。

外国語を活かせる職業に就きたいと考えていたこと、また、もともとヨーロッパに興味があり、ヨーロッパで中心言語として話されているドイツ語を学びたいと思ったことから、西日本の私立大学で唯一、専門の学科でドイツ語を学べる福岡大学に進学しました。大学3年次には、ドイツへ半年間の短期留学を果たし、憧れだったドイツでの生活を存分に満喫しつつ勉学に励みました。

この経験を通し、価値観や知見が広がったのはもちろん、やはり語学力を向上させることができました。日々の業務でもその経験を活かしたことで、2023年4月から3年間、タイのバンコクで駐在員として働く機会を得ました。ドイツ語圏ではありませんが、異文化理解力を評価してもらえた結果だと思います。今後は現地スタッフと協力し、より多くのお客様に西鉄の輸送サービスを使ってもらえるよう邁進したいと思っています。



ドイツと日本を結ぶ貿易商社を経営

篠原 友美 さん（2001年3月卒業、株式会社ブルックスジャパン代表取締役）

入学前は「何か海外と関わる仕事がしたい」という漠然とした夢を持っていただけでしたが、在学中にドイツ語やドイツ文学だけでなく、ドイツの歴史・文化・習慣等を学ぶことができたこと、夏期ドイツ現地研修(当時はハンブルク大学)を経験させていただいたことがその後の人生で大いに役立つことになりました。

卒業後、ヨーロッパやアジア諸国の製品を輸入する仕事に就き、2007年に輸出入取引を中心とする商社を設立しました。

現在取引国は世界30カ国以上に渡りますが、主軸となっているビジネスはドイツの工業用機械を輸入し、日本の産業へ卸売する事業で、売上の約半分を占めています。

在学中に学んだことがドイツとのコミュニケーションを円滑にし、ビジネスの成功に導いてくれています。



英語の先生になった先輩も

ドイツ語学科では、「ドイツ語」に加えて「英語」の教員免許状(中学校・高等学校教諭一種)を取得することができます。そのためには成績が一定の基準を満たす必要があります。教職課程の勉強に加えて二つの外国語を本格的に学ぶには相当の「やる気」も必要です。しかし、チャレンジする価値は大いにあります。ドイツ語と英語は兄弟のような言語で、よく似ているけれどもさまざまな違いも見られます。ドイツ語を学ぶことで、英語の姿がくっきりと見えてくるのです。

ドイツ語学科には、卒業後に英語の先生になり、教壇に立っている先輩もいます。中には大学院に進み、ドイツ語を研究しながら英語の先生になった人も。ことばの面白さを他者に伝える仕事に就くードイツ語学科での学びは、その出発点になるのです。



教員・研究の紹介

※2024年4月1日現在



金山 正道 教授

専門分野
「ドイツ文学」

福岡で3代100年にわたり教育研究に従事してきました。祖父は西南学院大学教授(英文学)、父は修猷館高校教諭(日本数学会会員)です。私の授業のモットーは「真剣に、楽しく」です。



マーレン・ゴツィック 教授

専門分野
「比較文化(日独)」
「日本学」「社会学」
「芸術学」

ドイツと日本を比較しながら現代社会や芸術の研究をしています。



堺 雅志 教授

専門分野
「ドイツ・オーストリア文学」

ドイツ文学の中でも特に世紀末ウィーンを中心とするオーストリア文学が専門。ドイツ語圏の映画、スポーツ、衣食住についても興味を持っています。



富重 純子 教授

専門分野
「ドイツ文学、とくにユダヤ系ドイツ語文学、東欧のドイツ語文学」

ハイネのようにユダヤの出自を持ち、ドイツ語で書いた作家、東欧にも広がっていたハプスブルク帝国出身の作家たちなどの研究をしています。ヨーロッパの映画も、研究テーマの一つです。



永田 善久 教授

専門分野
「ドイツ文学」

ヤーコプ・グリム(グリム兄弟の兄)の思想を研究しています。テキストマイニングの技術を語学文学研究に応用することも試みています。



森澤 万里子 教授

専門分野
「ドイツ語学」
「歴史社会言語学」

場面や相手に応じたことばの使い分けによって人はいかに人間関係を築こうとするのか、その分析をテーマの一つとしています。



有馬 良之 准教授

専門分野
「ドイツ事情」

学校制度を中心とした若者のあり方、環境、家族、犯罪といった問題をできる限り広い視野で考察しています。



片岡 宣行 准教授

専門分野
「ドイツ語学」

ドイツ語の文はどんな仕組みになっているのか、文の形と意味はどう関わっているのかを研究しています。外国語学習法の研究・開発にも関心があります。



平松 智久 准教授

専門分野
「ドイツ文学」
「ドイツ語教授法」

18～19世紀に活躍したゲーテによる代表作『ファウスト』の研究を中心として文学と自然科学(自然哲学・自然科学)の関連を探っています。



アンドレ・ライヒャルト 准教授

専門分野
「ドイツ文学」
「言語学」「メディア学」
「ドイツ語教授法」

記号学を用いて日本のサブカルチャーの研究をしています。



スサナ・デル・カスティヨ 講師

専門分野
「ドイツ語学」

豊かなオノマトペ(擬声語・擬態語)を持っている日本語がドイツ語でどのように翻訳されているかを研究しています。

課外活動



■ドイツ語クラブ「シュタムティッシュ」活動中！

多彩なイベント

ドイツ語学科では、授業時間外のドイツ語学習やドイツ文化体験をサポートするドイツ語クラブ(大学公認愛好会)を主宰しています。ドイツ語映画鑑賞会、新歓コンパやピクニック、自作ソーセージやシュニッツェル(カツレツ)の料理会、合宿、仮装パーティー、ドイツの卓上ゲーム会、ドイツ留学相談会、七隈祭への出店、クリスマス会などのイベントを開催しています。

■チャレンジ！

独検1級に合格！

ドイツ語技能検定試験対策自主勉強会をしたり、通訳としてのインターンシップ(企業研修)にも挑戦したりしています。ドイツ語学科で学ぶと、卒業までに独検2級レベルの力がつくことが期待されます。中には3・4年次で準1級・1級に合格する人もいます。

詳しくはドイツ語クラブウェブサイトをご覧ください。



フランス語学科

Department of French

ヨーロッパを深く学ぶ

「ヨーロッパ特別コース」と

フランスをさまざまな角度から多面的に学ぶ

「フランス語圏コース」。

言葉を武器に、自由で個性的な生き方を見つける。

フランス語の習得を通して、長い歴史を持つフランス、そしてヨーロッパの文化に触れ、これを理解し、深く味わうとともに、ネイティブスピーカーの教員をはじめ、ヨーロッパからの留学生や、留学先で知り合う人々との出会いと対話を通して、自ら考え発言する力を磨きます。

4年間で養われる自立の精神と確かなフランス語運用能力とが、国内外での社会貢献を支える礎となるはずです。

取得可能な主な資格

- 中学校・高等学校 教諭一種免許（フランス語）
- 日本語教員

福岡大学 人文学部 Webサイト



求める人材像（求める能力）

A	知識・理解	高等学校の教育内容を幅広く学習し、フランス語圏文化を学ぶに十分な基礎学力を有している人
B	技 能	学習や課外活動から得た経験を踏まえて、自らの視点で物事を順序立てて説明することができる人
C	態度・志向性	フランス文化に関する高度な専門知識を身に付け、グローバルな社会で活躍する社会人になることへの夢を持ち、専門知識を社会のために積極的に活用したいと考えている人
D	その他の能力・資質	自己研鑽により、英語の資格を取得した人やスポーツ活動・競技会等で顕著な成績をおさめた人

求める人材像
（求める能力）
の詳細は



フランス語学科での4年間

	1年次	2年次	3/4年次	卒業後
	基礎教育	専門教育	専門教育／論文・就職	
ヨーロッパ特別コース	「ヨーロッパ学入門」でヨーロッパの成り立ちと今を学び、「日本語リテラシー」で日本を発信する能力を養う。	留学生を交えた環境でコミュニケーション、プレゼンテーションの基礎力を伸ばす。	外国語運用の経験を積みながらヨーロッパ文化への理解をいっそう深め、次のステージへの揺るぎない土台を築く。	高次の コミュニケーション能力を 武器に国際舞台で活躍する人へ
フランス語圏コース	フランス語の基礎を固め、フランス文化の豊かな広がりを目を開く。	週4回の密度の濃い授業とフランス語圏現地研修でフランス語の語感を磨く。	少人数制ゼミに所属し、各自の関心に沿った研究を通して論理的思考と正確な意思伝達能力を獲得する。	フランス語に堪能で 自由・独立・個性を尊ぶ知性と 品格ある人へ

主な就職・進路先（2023年度卒業生実績）



●人文学部の主な就職先は [53ページ](#)

在学生の声

世界を知って高まった知的好奇心は無限大。
思いが伝わると語学はもっと楽しくなる。

Q1 この学科の魅力は？

フランス語は英語に次ぐ国際言語とされています。フランス語学科では言語だけではなく、西欧と日本の文化や価値観の違いについてディスカッションをしたり、ヨーロッパの成り立ちについて理解を深めたりする授業もあり、勉強すればするほど、知的好奇心がくすぐられるカリキュラムが組まれています。

Q2 好きな授業は？

「コミュニケーション基礎B」では、フランス語圏の留学生を招き、少人数のグループに分かれて会話をします。授業で習ったフランス語を実際に使うので、表現や発音など会話の上達に直結するのはもちろん、思いが伝わるとコミュニケーションの楽しさも体感できます。教科書だけでは得ることのできない経験で自分の世界が広がりました。



内村 風美さん

人文学部 フランス語学科 2年次生
福岡県 中村学園女子高校出身

※2023年取材時の情報です。

🕒 時間割 [2年次後期] (例)

	MON	TUE	WED	THU	FRI
9:00		インターメディアイト・イングリッシュⅡ	東洋史B	アジアの文学B	
10:40		フランス文学史B	フランス語ⅡB	プレゼンテーション基礎B	フランス語ⅡA
13:00				民法総則	コミュニケーション基礎B
14:40		法学B			インターメディアイト・イングリッシュⅡ
16:20		芸術B		クロスカルチャル・リテラシーB	

その他カリキュラムの詳細は



卒業生の声

世界で2番目に多く話されている公用語。
だからこそ、もっと広い世界とつながれる。



鶴 弦人さん（2020年卒業）

西日本鉄道株式会社 都市開発事業本部
ソラリアステージ運営室

※2023年取材時の情報です。

現在は、「都市開発事業本部」という部署で商業施設の運営管理に携わり、集客イベントの企画立案をはじめ販売促進業務を担当しています。

私は入学前から、将来は福岡の街づくりに貢献したいと考えていました。そのためには学生のうちから世界中の都市を見ておく必要があると考え、「2番目に多く話されているフランス語を学べば、より広い世界を知ることにつながるはず」と思い、進学を決めました。

1年間のフランス留学中は、フランス国内だけでなく多くの国に足を運び、福岡の良さや足りないものに気付くことができました。留学中に気付いた街づくりに関するアイデアはノートに書き留め、今でも仕事に生かしています。

留学先ではSNSでコミュニティーを作り、パーティーや小旅行を企画しました。ここで身に付けた「周りを巻き込む力」は現在の仕事でも、同僚やテナントに協力を求める際に非常に役立っています。



二つのコースで フランスを ヨーロッパを 実践的に、深く学ぼう！



ヨーロッパ特別コース(10人程度)と
フランス語圏コース(40人程度)に分かれ、
少人数クラスでアットホームな雰囲気の中、
フランス語とフランスを中心にしたヨーロッパ文化を学びます。
ヨーロッパの言葉と文化を知り、あなたの未来を切り拓きましょう！

ヨーロッパ特別コースは、定員10人。ネイティブ教員による授業を数多く配したカリキュラムで、フランス語のコミュニケーション力を鍛えます。ドイツ語学科ヨーロッパ特別コースと合同のクラスでは、フランス語圏・ドイツ語圏からの留学生を交えた多言語環境に身を置くことになります。「語学強化プログラム」で、英語・ドイツ語(どちらか一方を選択)の運用能力も培えます。授業や演習では、高度なコミュニケーションの基礎となる、ヨーロッパの地域文化・言語文化・表象文化、それに自文化である日本文化への理解を深めます。

フランス語圏コースでは、ヨーロッパだけでなく、アフリカ、北中米諸国をはじめ全世界で広く用いられるフランス語の世界を探究します。ゼロから始めるフランス語のトレーニングを積み重ねるとともに、フランス語圏の地域文化・言語文化・表象文化をさまざまな角度から学びます。3・4年次のゼミでは、それぞれのテーマを見つけ、フランス語力を鍛えながら行う調査と考察の結果を発表します。問題の発見と解決、それを分かりやすくプレゼンテーションするという社会人としての基礎を身に付けます。

両コースとも、1年間の交換留学(フランス、ベルギー)や1カ月間の現地研修(ベルギー)に参加し、海外生活を体験することができます。これに参加できない学生も、常時迎え入れている留学生との交流の機会に恵まれます。中学・高校の教員免許(フランス語、英語)、日本語教員免許が取得でき、大学院進学の道もあります。国際的な職場で活躍する職業人として、成熟した市民として、教養と見識を備えた家庭人として、豊かな人生を築くための足場がここにあります。



✈️ 海外語学研修体験記

三角 彩恵 さん [東筑高校卒]

私は海外語学研修でベルギーに3週間、フランスのパリに1週間滞在しました。
ベルギーのルーヴァンラヌープでは素敵な先生方や友人と出会うことができました。研修の初めのころは、現地の方の言っていることを聞き取ることすらままならなかったのですが、日を追うごとに積極的に会話を楽しめるようになり、自分の成長を感じることができました。ベルギー滞在時には友人たちとベルギーの美味しいものを食べたり、ビールを飲んだり、街へ出掛けたり、日本とは異なる文化や慣習に毎日触れることができ、とても刺激的な日々を送っていました。
フランスのパリでは目に入るもの全てが魅力的で圧倒されました。レストランのメニューなどはフランス語表記のものも多く、自分のフランス語の能力を試すとても良い機会になりました。現地の方は私の拙いフランス語でも、フランス語で話しかけたことを喜んでくださり、たくさん会話を楽しむことができ、改めてフランス語を学ぶ楽しさや、現地の方と現地の言葉(フランス語)で会話する喜びを感じました。
この研修を通して私は自分の成長を感じることができました。この4週間は私にとってかけがえのない宝物です。



✈️ 交換留学体験記

守尾 ユーリ 拓海 さん [済々黌高校卒]

私は、ベルギーのリエージュ大学に1年間留学していました。ベルギーは国内で三つの言語が話され、またさまざまな国に囲まれた小国であるため人々がすぐ温かく親切です。自分がこの国で生活することなど決まるまでは想像もつきませんでしたが、今ではどこよりもベルギー、特にこの日本とは全く違う街、リエージュの虜です。大学では現地の友達はもちろん、世界中から来た友達と毎日濃い時間を過ごしました。出会う人々からは、特に勉学の面で刺激を受けることが多く、自己研鑽の必要性をここまで感じたことは未だかつてありません。文化の面においても、宗教や歴史からくる日本にはない価値観や習慣を肌で感じるとともに、外から見ること、日本という国の素晴らしさも知り、自分の将来の展望は大きく変化しました。また、留学生の間では英語での会話がほとんどなので、フランス語と英語を両方上達させることができます。授業はフランス語でも英語でも受けることができますが大変難しいです。ベルギーで過ごしていた時間が今の人生で最も刺激的で、価値観や思考を多様化させ、自分自身に幅を持たせ豊かにしてくれていると確信しました。この文章を読んできた皆さんは少なからず留学に興味を持っているはず。この交換留学のプログラムを使って留学に行くことを心の底からお勧めします。何度人生があらうと、私は、ここリエージュに留学をすることでしょう。



溝上 耀史 さん [日本放送協会学園卒]

Salut! 僕は今、交換留学制度を使ってベルギーのルーヴァン・カトリック大学で勉強しています。僕が住んでいるルーヴァン・ラ・ヌープはブリュッセルから電車で約1時間のとても小さな町で、多くの学生がkotと呼ばれる学生寮に住んでいます。このkotにはさまざまな種類があり、中でもkot mangaに住んでいる学生は日本人留学生の生活の手助けをしてくれます。僕が履修しているフランス語の授業は基本的に全てフランス語で行われていて、DELF・DALFの級に沿ってクラス分けされています。授業は主に会話することに焦点が置かれていて、文法は日本で勉強した範囲で十分カバーできると思います。そして、授業や現地の学生との会話を通して、教科書では学べない、生のフランス語を学ぶことができます。また、クラスにはさまざまな国から来た留学生がいるため、たくさんの友達を作ることが可能です。週末はクラスで知合った友達や日本語を学んでいる現地の学生と一緒にsoiréeをしたり、バーに行ってビールを飲んだりして楽しんでいます。また、彼らとの会話を通してさまざまな生き方を知り、将来への可能性の幅が広がりました。ここでは毎日フランス語と触れることができるので、僕は楽しくて毎日があっという間に過ぎていきます。そして、学部を卒業した後に必ずここに戻ってこうと思わせる魅力があります。皆さんにも交換留学を通してたくさんの素晴らしい経験を積んでもらいたいです。
[追記]留学生同士の会話には英語が用いられることが多く、英語を多少話すことができれば、友達を作る上で役に立つでしょう。そして、留学をする前に、できるだけたくさんの仏単語を覚えることをお勧めします。



川上 玲央 さん [筑前高校卒]

僕は交換留学生として1年間、フランスのセルジー・ポントワーズ大学に留学しました。セルジー・ポントワーズ大学には日本語学科があり、日本人の留学生はその学科に所属しながら、その学科の日本語を勉強する学生と一緒に学校生活を送りました。授業は日本語の授業のアシスタントをしたり、自分のレベルに合ったフランス語の授業をフランス人の先生とフランス語で勉強したりするものがありました。授業では話すことがメインなのでフランス語のレベルアップになりました。学校はパリから電車で40分ほどで、年間の定期券もあったので授業の後によくパリに観光に行きました。僕が住んでいた場所はセルジーという地区でパリほど物価が高くなくて、スーパーやレストランも多くあるので生活には困りませんでした。また、近くに小学校や幼稚園があり、人も多いので安全面では安心できました。フランスではしばしばバカンスという2、3週間の休みが設けられます。そしてフランスはEU加盟国なので、時間があればベルギー、スペイン、オランダ、ドイツ、イタリアなどさまざまな国に旅行に行くことができました。このように、普段できないようなことができるのが留学です。毎日目まぐるしく変わる環境にストレスを感じず、むしろ楽しもうとする心さえあれば、留学は必ず成功します。たくさんの人に出会い、自分ができること、可能性を広げたい人には福岡大学の交換留学プログラムはおすすめです。



📌 Point

フランス語学科では、ベルギーで3週間、フランスのパリで1週間、合わせて4週間の集中フランス語研修を「フランス語圏現地研修」としてカリキュラムに取り込み、単位を認定しています。
また交換留学制度により、フランスまたはベルギーの大学で約1年間の長期留学が可能です。



ゼミ紹介

井関ゼミ

中庭 恵ティファニー さん【糸島高校卒】

私が所属する井関先生のゼミでは、「18世紀フランス」をテーマにそれぞれ気になった事を調べ、パワーポイントを使いながらプレゼンします。私自身プレゼンの仕方やレポートの書き方が全く分かりませんでしたが、先生が丁寧に教えてくださったり、ゼミのメンバーの人それぞれのプレゼンも参考にしたりしながら楽しくプレゼン、レポートを作成する力をつける事ができ、ゼミだけでなく他の授業の課題にもとても役に立ちました。ゼミのメンバーの発表に対し、質問を出し合いながらみんなでテーマについての理解を深める事ができるのは少人数のゼミだからできる事だと思います。

また、私は課外活動として、社交ダンスのサークルに所属しています。ほぼ毎日の練習と週末の遠征がありながらも、ゼミ活動に取り組み、また井関先生やメンバーの協力の下、活動する事ができます。私以外にも課外活動をしているメンバーの舞台をみんなで観に行く機会もあり、刺激を受けました。

フランスの事はもちろん、4年次の就活のための講座も開いてくださり、私たち学生のためにさまざまな取り組みを考えてくださる素敵な先生です。



進路・就職

本学科ではフランス語、それに英語の教員免許が取得でき、それを生かして各種学校の教員となった卒業生も少なくありません。その他、出版、放送などのマスコミ、銀行、商社、旅行会社、金融関係など、幅広い分野からの求人があります。

■主な進路・就職先

一般企業	マスコミ、旅行会社、商社、銀行 など
教育研究分野	教員、大学職員、日本語教員(フランス、タイ、韓国) など
官公庁などの専門職	国家公務員(国税庁)、地方公務員(消防、警察) など
大学院への進学	本学大学院人文科学研究科(仏語学仏文学専攻)、他大学の大学院



■Graduate's Voice 卒業生の声

フランス語学科での学びは私の人生にとって有意義なものになっています。フランス語をはじめとして、そこで身に付けた事が日々の仕事に生かされているからです。現在は、駅係員として乗車券の販売や改札口での案内をとおして、お客さまの旅のお手伝いをしています。毎日数千人の方に利用していただいており、フランス語圏のお客さまもいます。特に印象に残っているのは、パスポートを車内で紛失し、困り果てていたスイス人のお客さまにフランス語で対応し、無事パスポートを届ける事ができた時です。この時は、フランス語学科で学んで本当によかったと実感しました。フランス語学科では、言語だけではなく、文化、社会、芸術等さまざまなことを学べます。特に、3年生からのゼミでは、少人数のため先生に質問がしやすく、同じゼミ生とも仲が深まり、充実した生活が送れます。

私は在学中に魅力を感じたフランスについて生涯学んでいくつもりです。皆さんもぜひフランス語学科で夢中になれることを探す旅に出発してみましょう！

En route!



辻 沙織 さん
JR九州サービス
サポート株式会社
【光陵高校卒】

私が日本でフランス語を学ぼうと思ったのは、いろいろな外国語に興味を持っているという理由でしたが、日本語以外の言語でフランス語を選んでよかったと思います。福岡大学のフランス語学科ではフランスの他に、ベルギー、カナダといったフランス語圏の文化の魅力を知ることができ、フランスに留学すること、さらに大学院に進むことを決めました。映画鑑賞などのイベントにも参加できて、学科でフランス語とフランス語圏の文化や文学などを学ぶことができ、充実した大学生活を過ごすことができました。交換留学の制度を利用してセルジー・ポントワーズ大学に留学することもできました。フランスの大学生と一緒に授業を受けたり、各国の留学生とフランス語の授業を受けたり、さまざまな人間と出会い、私の人生にとって重要な経験でした。勉学以外には、フランスだけではなく、ドイツ、スペイン、イタリアなどの国に友人たちと旅行しました。留学のおかげで、今までとは違う世界に触れ、視野を広げ、自分にはまだ多くの可能性があると感じています。

現在、福岡大学大学院人文科学研究科仏語学仏文学専攻博士課程後期で、フランス語を対象とする言語学の研究をしています。フランス語学科で身に付けた知識と経験が生かされていると実感しました。大学院にも留学制度があるため、チャンスがあればぜひもう一度留学に行きたいと思っています。



宜桐 肖 さん
福岡大学大学院
人文科学研究科博士課程
後期
【長春外国語学校卒】

教員・研究の紹介

フランス語学科に所属している教員をご紹介します。

※2024年4月1日現在



鈴木 隆美 教授

研究テーマ
20世紀フランス文学・
思想、身体論

フランスには、洗練されたファッションや極上のスイーツは言わずもがな、頭のおかしい芸術家、思想家たちの突飛なクリエイションに満ち溢れています。ぜひとも、自由と愛に満ちたフランス的な生き方の「流儀」に、触れてほしいと思います。そこには人生のヒントがごろごろと転がっているはずです。



村石 麻子 准教授

研究テーマ
現代フランス小説、
比較文学

フランスのノーベル文学賞作家アルベール・カミュは、「創造すること、それは己の運命を形作ることもある」と言っています。大学時代は、受け身でない自分自身の人生を切り拓くための準備期間です。学びも遊びも精いっぱい楽しむことで、自分を創る力を呼び覚まし、我々とともに自己研鑽を重ねていきましょう。



山本 大地 教授

研究テーマ
フランス語の語彙、
会話の研究

スピーチコンテストで輝く、留学先で外国人の友人を作る、語学研修でホームステイする、専門的な知識を身に着ける、高度な検定試験に合格する・・・これらすべてを実現できる道筋が、フランス語学科には用意されています。必要なのはあと一つ、皆さんのやる気だけです！やる気のある皆さんをお待ちしています。



辻部 大介 教授

研究テーマ
フランス語文献学、
モンテスキューの宗教思想

真・善・美を追求し、正義と平和を実現することが、人間一人一人にとっての究極の課題である、という考えが、西洋文明の最良の部分形づくっています。この文明の一翼を千年以上にわたり担ってきたフランス語を深く学ぶ経験は、大学卒業後どのような道に進むのであれ、あなたの人生を照らす光となり続けることでしょう。



アンティエ・
エマニュエル 教授

研究テーマ
言語文化教授法、
異文化コミュニケーション

フランス語と日本語はかけ離れた言語です。しかし、かけ離れているからこそ魅力的です。母語とは全く異なる言語の世界を知することは、自分の視野を広げることであり、自分自身を再発見することにもつながります。皆さんも、福大のフランス語学科のメンバーと一緒に、言語間の旅に出かけましょう。新しい自分に出会えるはずです。



テクセラ・
ヴァンサン 教授

研究テーマ
詩、19・20・21世紀
ヨーロッパ文学と哲学、
映画、音楽

フランス語とフランス文化の知識は、世界の多様性を発見する手段でもあるのです。他者を見続けることもなく、速くにある他の場所を見ることもなく、星を愛で続けることもなしに、一体どうやって人間としての一生を過ごすことができるでしょう。作家ヴィクトル・ユゴーが書いているように、人間とは「星に恋するミミズ」なのです。



比内 晃介 講師

研究テーマ
フランスにおける
若者ことばの研究

大学での学びの醍醐味は、何といっても新しいことに果敢に挑戦すること、そして新しい自分を発見することだと思います。日本語や英語とは一味異なったフランス語という言語についての専門的な知識を学んだり、フランス語を通して外国の人々と交流したりすることで、これまで気づくことのなかった自分の隠れた興味や能力と一緒に発掘してみませんか。



鈴木 美香 講師

研究テーマ
中南米やヨーロッパの
移民・難民、在日外国人

人生は縁の巡り合わせから出来ており、授業で学んだことや学校で出会った人々が日々の生活や将来自分が行う選択に与える影響は決して小さくありません。フランス語学科でのフランス語やヨーロッパの文化についての学び、同級生や先生達と過ごす時間は皆さんのかけがえのない人生の財産になるはずです。皆さんとお会いできることを楽しみにしています。



遠藤 文彦 教授

研究テーマ
現代フランス文学
(バルト、デュラス、サガン)

皆さんは、フランス語は大学に入って初めて学ぶ言語だと思っているでしょうが、じつは英語を通してフランス語について多くのこと(文字、発音、語彙、文法)をすでに知っています。知っているということを知らないだけなのです。フランス語と英語の知られざる関係を知れば、フランス語が意外と簡単に話せるようになるだけでなく、英語のこともより深く知ることができるでしょう。



川島 浩一郎 教授

研究テーマ
フランス語の文法研究、
言語研究

日本人より日本語に詳しい外国の方って、カッコいいと思いませんか。受講者に「フランス語ネイティブよりもフランス語に詳しい日本人」を目指してほしい、そんな気持ちで文法の授業をしています。フランス語は、話されている国や地域が英語の次に多く、文法や単語が英語に似ていて勉強しやすい言語です。それでいてフランス語が得意な日本人は比較的小数なので、希少価値もあります。学ぶことにメリットの多い言語だと思います。



小池 美穂 准教授

研究テーマ
フランス・ルネサンスの
思想・文学

あるフランスの詩人が「さまざまな料理の中で美味しいと思える料理があるならば、それはあなたが調理したものだろう」と言っています。この意味するところは、材料選び、レシピから旨味の出し方までその料理の極意を知っていれば、何も知らずに食べても美味しいものがさらに美味しく感じられるということです。フランス語学科はさまざまな「グルメ」を提供しますので、あなただけの「至極の一皿」、ぜひ見つけてください。Bon appétit!



井関 麻帆 准教授

研究テーマ
18世紀啓蒙文学(ルソー)

外国語を学ぶことは「発見」の連続です。フランス語を学習するとさまざまな疑問が湧いてきますが、答えを探していく過程で新しい文化に出会うことができます。さらに視野を広げると、フランス語圏であっても国や地域によって違いがあることに気付きます。例えば、フランスの国境を超えてスイスやベルギーに行くと、フランス語特有の数の数え方にも変化が生じます。また、皆さんが日常的に使っている「カフェオレ」というフランス語も、地域によって表現が異なります。これらの差異の由来を探ると、各地の文化や歴史が深く関わっていることが分かります。フランス語の学習を通して、言葉に包まれる文化的要素や歴史的背景を「発見」する喜びと面白さを知ってもらえたら嬉しいです。

東アジア地域言語学科

Department of East Asian Studies

中国・韓国を中心に
東アジア地域をとらえた学び。
ボーダーレスに活躍できる
人材を目指す。

中国や韓国をはじめアジアへの玄関口として発展を遂げた福岡。その福岡で、グローバルに活躍できるリーダーを育成することは本学の使命の一つであり、その一環として設置されたのが東アジア地域言語学科です。それぞれ中国や台湾と韓国・朝鮮を対象とした「中国コース」と「韓国コース」、いずれかに軸足を置きつつ、もう一方の科目も時間割の可能な範囲で自由に履修可能。中国・韓国の言語や文化、地域事情を学ぶことで、東アジア地域で活躍し得る人材を目指します。

取得可能な主な資格

- 中学校・高等学校 教諭一種免許（中国語・朝鮮語）
- 日本語教員

福岡大学 人文学部 Webサイト



求める人材像（求める能力）

A	知識・理解	高等学校の教育内容を幅広く学修しており、中国や韓国を学ぶに十分な基礎学力を有している人
B	技 能	自らの視点で物事を考え説明することができる人
C	態度・志向性	東アジア地域で活躍する国際市民になることをめざし、その力を地域社会のために積極的に活用したいと考えている人
D	その他の能力・資質	主体的な活動により、英語や中国語・韓国語等の検定に合格した人やスポーツ活動・競技会等で顕著な成績をおさめた人、または国際交流に積極的に参加した人

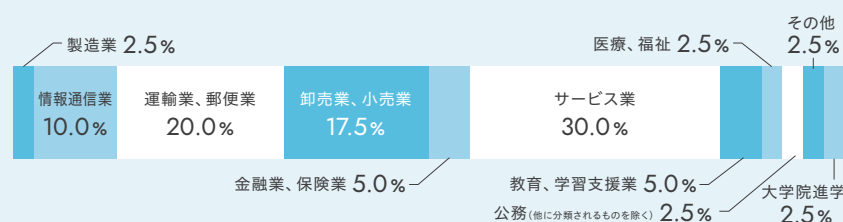
求める人材像
（求める能力）
の詳細は



東アジア地域言語学科での4年間

1年次	2年次	3 / 4 年次	卒業後
基礎教育	専門教育	専門教育・論文・就職	
東アジア地域への広汎な理解 - 必修 - 中国・韓国学入門演習 - 中国事情概説 - 韓国事情概説 - 中国語Ⅰ - 朝鮮語Ⅰ - 必修選択 - 中国語入門 - 朝鮮語入門 ※両方選ぶことも可能 コースの選択 どちらの地域と言語を主とするか決定。	地域を選択して専門性を深化 〔コース必修〕 - 中国コース - 中国学文献講読Ⅰ - コミュニケーション中国語Ⅰ - 中国学基礎演習 - 中国語Ⅱ - 韓国コース - 韓国学文献講読Ⅰ - コミュニケーション朝鮮語Ⅰ - 韓国学基礎演習 - 朝鮮語Ⅱ 時間割が許せば他のコースの授業も選択可能。	演習（ゼミ）を通して考察力・応用力の強化 演習（ゼミ）とは、各自の問題意識に従い、自分の力で整理・解決報告するための授業。各教員の専門領域に従って選択。 〔3年コース必修〕 - 中国学演習Ⅰ - コミュニケーション中国語Ⅱ - 中国学文献講読Ⅱ 語学力の向上による問題発見能力と分析力の強化 〔4年コース必修〕 - 中国学演習Ⅱ - コミュニケーション中国語Ⅲ 〔卒業論文〕 これがきちんと書けるのが「学士力」。企画書や報告書・調査書が書ける人材であることを示すもの。（卒論は選択）	高いレベルで身に付けた専攻言語の運用能力を生かし、東アジア地域で活躍できる人材へ

主な就職・進路先（2023年度卒業生実績）



●人文学部の主な就職先は [53ページ](#)

在学生の声

中国語・韓国語の両方が学べる環境。
充実した留学プログラムで貴重な経験を積む日々。

Q1 この学科の魅力は？

社会的ニーズの高い中国語・韓国語の両方を学習できます。また、文化や歴史、政治など広い視点から東アジア地域を見ることができる点も魅力に感じています。交換留学の制度も充実していて、今は台湾の国立高雄大学に留学中。現地での学びは固定概念が覆されることの連続で、自分の視野がどんどん広がっているのを実感しています。

Q2 好きな授業は？

「コミュニケーション中国語ⅠB」です。授業では中国のアニメーションを観て中国語を書き出し、自分で日本語に翻訳します。翻訳の作業はとても新鮮で楽しく、理解できたときの達成感は大きなやりがいにつながっています。言語を楽しみながら学び、友人や先生と共有することで新しい発見もあり、確実に自分の知識になっていることを実感できます。



中原 遥 さん

人文学部 東アジア地域言語学科 4年次生
熊本県 玉名女子高校出身

※2023年取材時の情報です。

🕒 時間割 [2年次後期] (例)

	MON	TUE	WED	THU	FRI
9:00		日本語学概論Ⅱ	中国語表現法 B	コミュニケーション中国語ⅠB	
10:40		インターメディア・イングリッシュⅡ	朝鮮語Ⅱ B		
13:00		日本語史Ⅱ		韓国言語文化概説 B (言語)	中国語Ⅱ B
14:40		中国語Ⅱ B			中国言語文化概説 B (言語)
16:20	中国学文献講読Ⅰ B	中国学基礎演習 B		日本文学概論Ⅱ	朝鮮語Ⅱ B

その他カリキュラムの詳細は



卒業生の声

将来のために「日本語教員課程」を履修。
専門的な学びが仕事に直結した。



古場 真朱 さん (2019年卒業)

韓国所在 日本語学院

※2023年取材時の情報です。

韓国で日本語教師として働いています。授業は全て韓国語で、ひらがな、単語、漢字、文法などを教える仕事です。

入学前から韓国で日本語教師になることを目標にしていた私にとって、韓国語に特化した専門的な学びができる点はもちろん、「日本語教員課程」を履修できる点がとても魅力的でした。

授業の中で、ニュースなどの難しい文章を翻訳する際に覚えた語彙や表現は、仕事で中・上級クラスの授業を受け持つときによく使います。「模擬授業」で学んだ授業の作り方や準備の仕方も、実践の場ですぐに役立ちました。

在学中はTOPIKや韓国語検定の資格を取得し

たこと、韓国語スピーチ大会に出たこと、留学生と授業を受けて交流したのも良い思い出です。



恵まれた留学・研修プログラム

- 本学に授業料を納めた上で「交換留学」「認定留学」の制度を利用した場合、留学先で履修した科目は、一定の条件を満たすことで単位認定されます。そのため、半年または1年間の留学期間を含め、4年間で卒業することが可能です。
- 多くの学生が3年次に留学します。

交換留学 制度	〔 本学と交換留学制度のある協定大学(2023年時点) 〕	
	中国・台湾	華東師範大学(上海)／揚州大学／広州大学／烟台大学／中央財経大学(北京)／黒龍江大学 輔仁大学(台北)／高雄大学 など
	韓国	成均館大学校(ソウル)／国民大学校(ソウル)／慶熙大学校(ソウル)／仁川大学校／ 釜山大学校／釜山外国語大学校／東義大学校(釜山)／慶南大学校(昌原)／蔚山大学校／慶北大学校(大邱)／ 啓明大学校(大邱) など
認定留学制度	〔 実績 〕 2018年度交換留学 … 29人(韓国25人、中国・台湾4人) ※コロナ禍前	
短期研修	交換留学制度のような留学援助金の支給はなく、留学先の授業料も自己負担となりますが、半年または1年間の留学中に取得した単位を本学の単位に認定する制度です。	
	韓国・蔚山大学校 夏期研修 / 中国・揚州大学 春期研修	



韓国



岡野 知奈美さん
(仁川大学校)

最初は期待よりも不安な気持ちが大きくて心配でしたが、実際に生活していくうちにそんな心配もなくなりました。あっという間に1年が過ぎ、とても有意義な留学生活となりました。

留学を通して、目標であった語学力向上という目標を果たし、自分自身が成長することができました。

また、たくさんの大切な友達ができ、困った時には親身に手伝ってくれたり、色々な場所に連れて行ってくれたり、とても良くてくれたことが記憶に残っています。



池松 雅史さん
(国民大学校)

実際に韓国で生活してみて、日本での生活とは違う点が多くさまざまな経験をすることができました。

言語の面では初めは苦労しましたが、授業を受けるにあたって予習復習などをし、また友達をたくさん作ることで言語能力の向上に努めました。他の国の友達もたくさんできました。

異国で生活をする事で苦労することもありますが、そこで自分でどのようにするべきか考えることで、自分自身の成長にもなりました。



松本 萌乃さん
(慶熙大学校)

慶熙大学校には大学が管理する国際交流サークルがあり、サークルを通して韓国人はもちろん、世界中の留学生と仲良くなることができました。

韓国人と交ざって受ける授業はついていくのが大変で、何度も挫折しそうになりました。しかし、「やるしかない」という状況だったので必死に乗り越えて、とても貴重な経験になりました。

慶熙大学校の周りは飲食店も多く、夜も人通りが多かったので住みやすかったです。



塩村 若菜さん
(高麗大学校)

高麗大学校は留学生数多く、韓国以外の国の友達も多くでき、さまざまな価値観や文化に触れることができました。

授業は予習復習、課題、発表に追われる毎日で正直きついと感じる部分もありましたが、自分の発表がうまくいった時や自分の意見を韓国語で伝えることができた時の達成感は大きかったです。

また、韓国の地方に行ったり、韓国人の友達の実家に遊びに行ったりと、留学ならではの経験もしました。今考えると、留学の時間は私の人生で一番充実していました。帰国してもこの経験で得たものを生かして、勉学に励みたいです。



松永 佳太さん
(培材大学校)

留学は半年間だったのですが、半年間で多くのことを学ぶことができました。授業で韓国語を学び、サークルでは文化、習慣を学び、韓国人の友達と遊びに行くと、最近の流行りや流行語などを知れるなど、本当に多くのことを知り、体験することができました。

半年間という、普通の1年留学と比べると短い期間の留学でしたが、親切な大学の友達や先生方と共に、とても充実した大学生活を送ることができました。



榎本 莉子さん
(啓明大学校)

現地で生活をして初めて気付くもの、日本と違う文化を学べました。より韓国に興味がわき、韓国語がより好きになりました。

初めは教授が話している韓国語を理解するのに苦労し、毎日予習復習をしました。友達を作ろうと外国語サークルに入ったり、日本学科の教授と韓国人の友達とで、週に1回日韓交流会を企画したりしました。

また、国際センターの活動で高校に「出前授業」をし、日本を紹介しました。夏休みは日本学科の演劇の日本語指導をし、ヨガを習い、旅行をしました。留学で得るものは言語・文化だけでなく、たくさんのお出会いです。



遠座 未来さん
(蔚山大学校)

初めは不安も大きかったのですが、蔚山市内見学や国際交流サークルなどもあり、楽しかったです。留学生向けの授業も多く開講されていました。語学堂もあるので十分に韓国語を勉強でき、さまざまな国の友達もできました。

勉強も大変でしたが、休みの日には遊びに行くという充実した留学生活を過ごすことができました。旅行で行くのとでは違う留学生活で、視野も広がりました。留学生活を生かし、これから勉強していきたいです。



磯江 菜月さん
(東亜大学校)

留学中、朝昼は学校に行き授業を受け、授業後に友達とご飯を食べに行ったり遊んだり、充実した1日を送りました。授業は韓国語講座と、後期からは自分の興味のある授業を履修しました。

韓国語での授業は自分にとって、簡単なものではありませんでした。しかし、一緒に勉強することで切磋琢磨しあい、徐々に意思疎通が取れるようになるのがうれしく、語学意欲がさらに強くなりました。大学の授業は発表や試験など大変でしたが、友達に助けてもらい乗り越えることができました。留学でしか出会えない縁や経験をすることができ、本当に有意義な10カ月となりました。



藤 理奈さん
(東義大学校)

東義大学校は日本人の留学生が少ないので、その分名前をすぐ覚えてもらえたり、先生方が気にかけてサポートしてくれたりしました。また、韓国以外のさまざまな国の方とも交流することができました。

語学堂では、一緒に勉強することで切磋琢磨しあい、徐々に意思疎通が取れるようになるのがうれしく、語学意欲がさらに強くなりました。大学の授業は発表や試験など大変でしたが、友達に助けてもらい乗り越えることができました。留学でしか出会えない縁や経験をすることができ、本当に有意義な10カ月となりました。



増本 詩織さん
(釜慶大学校)

釜慶大学校は外国人留学生がたくさんいるということもあり、留学生へのサポートが充実していました。留学生をサポートしてくれる学生団体や毎学期行われる韓国文化体験、留学生用の授業もたくさんありました。留学生への環境が整っていたので不安なく充実した留学生活を送ることができ、私の人生の中で一番濃い1年間を過ごすことができたと思います。

また、この留学経験を通して自分の意見をきちんと伝えるようになり、以前よりも積極的な性格になりました。私にとって韓国留学は韓国語の上達だけではなく、性格的にも変わるきっかけになりました。



古賀 梨華子さん
(釜山大学校)

釜山大学校の魅力は留学生向けの授業が多いことです。韓国人学生だけではなく、さまざまな国籍の人たちと授業を通して交流することができました。また、釜山について学ぶ授業もありました。釜山の歴史や文化を実際に跡地や観光地を巡って学んだり、グループで野外活動をして発表したりしました。

授業以外では、PNUFという釜山大生と交流するサークルと卓球サークルに所属し、学校外でもご飯を食べに行ったり、カラオケに行ったりしました。大学の周りは学生街なので、にぎやかなのも良かったです。



中国・台湾



田口 祐希さん
(揚州大学)

私は留学する前年に、短期研修で揚州大学に来て揚州の環境や大学を気に入ったこと、揚州大学にHSK(中国語検定)対策を中心とした授業があるため、ここを選びました。

最初の3カ月間は中国語が聞き取れず、授業についていくだけでも苦労しました。その後中国語が分かってくる、授業に積極的に参加できるようになり、速足やスピーチ大会などのさまざまな行事を通して中国人、外国人留学生を問わず仲良くなることができました。

私は人見知りをする性格でしたが、この留学を通して自分の価値観や考え方が変わったと感じています。



太田 梨沙さん
(広州大学)

私が留学することを選んだのは、中国語を学びたいというだけでなく、弱い自分を変えたいと思ったからでした。

新しい環境にとびこんで生活するのは、はじめは大変でした。だけど人は不思議なもので、ゆっくりですが慣れていきます。日本にいるときとは思いもなかったこと、留学してから気付いたことがたくさんありました。

実際に留学するのは簡単なことではないと思いますが、現地でいろいろな経験をする中で、それが自分の自信へとつながっていくと思います。せっかくのチャンスなので、興味がある方はぜひ挑戦してみてください。



増永 奈央さん
(輔仁大学)

台湾の輔仁大学の授業はグループ学習が多々あるため、台湾人の友達を作りやすいです。また、さまざまな国の留学生と中国語を学ぶ授業もあります。テーマを設定して討論をする機会が多くあり、私は最初、自分の意見を中国語で伝えることが苦手でした。しかし周りの留学生から刺激を受けて、負けたくないという思いで毎日勉強に励むうちに、相手を説得できる意見が言えるようになりました。このような環境で互いに高め合いながら授業に臨めたことを、うれしく思います。

1年間はとても充実していて、留学に行けて良かったと心から思います。

学科行事年間スケジュール

※近年のスケジュールを踏まえて作成してあります。状況に応じて、追加・変更があります。

4月	■ 対面式 ■ 科目登録／前期開始	■ フレッシュャーズセミナー(1年次生) - 新入生と教員・在学生が参加
5月	■ 交換留学選考出願	
6月	■ 韓国・高麗大学校との学生交流会 ■ 特待生表彰式／保護者懇談会	
7月	■ 前期終了／定期試験	
8月	■ ゼミ合宿 ■ オープンキャンパス 教員と在学生による高校生向け学科案内 ■ 韓国・蔚山大学校研修(定員あり) ■ 上海財経大学との交流会(オンライン)	
9月	■ ゼミ旅行 ■ 後期開始 ■ 中国・広州大学とのEタンデム学習参加者募集	
10月	■ 韓国・檀国大学校との学生交流会	
11月	■ コース分け決定(1年次生) 2年次から中国コースに進むか、韓国コースに進むかを決めます。 ■ ゼミ分け決定(2年次生)	
12月	■ キャリアアップセミナー(4年次生の報告)・先輩と語る 3年次生向けの就職支援セミナー。就活に向けて社会人や4年次生内定者からのアドバイスを聞きます。 ■ 卒業論文提出(4年次生)	
1月	■ 後期終了／定期試験 ■ 卒論口頭発表会・口頭試問(卒論提出者4年次生)	
2月	■ 中国・揚州大学研修(定員あり)	
3月	■ 卒業式 ■ 祝賀会 ■ 科目履修説明会(2年次生) ■ 合同ゼミ研修(2年次・3年次生)	

資格取得を目指して ―なぜ語学教員を目指すのか？



溝田 碧子さん

私が教職課程を履修したのは、教員である両親の影響が大きいです。元々私はキャビンアテンダントとしてチャイナエアラインへの入社を目指していましたが、コロナウィルスの蔓延により、夢への行きが怪しくなりました。自分が将来どのような人間になりたいのか再度考えた時に、私は自分にしかできないことをしたいと強く感じました。

幼い頃から見てきた両親の仕事は常に忙しそうでしたが、楽しそうでもありました。教師という存在は生徒の中で一生残ります。教職課程を履修すると、他の学生よりも履修すべき科目は増えますが、他の学生に比べ知識も豊富になります。私は教職課程の授業を受けるたびに、楽しさや工夫の仕方、先生の努力を学びました。

教師が足りない、忙しい、きついといったイメージで判断するのではなく、自分にとって「先生」とはどのような存在だったか思い返してみると、教員への尊敬と魅力を感じられるのではないかと思います。



鬼塚 美桜さん

私は将来、自営業でカフェと民泊を経営したいと考えています。そしてその傍ら、人に何かを教えることが好きなので、中国語教室を開きたいとも考えています。

実際には中国語教室を行うにあたって教員免許は必要ありませんが、教員免許を持っているということは自分の大きな自信になると思いますし、なにより、教員免許を取得するために学ぶ多くの教授法や法律、また、何度も繰り返し行う模擬授業は必ず自分の糧になると考えています。

大変だと思うことは、他の学生に比べて授業量やテストの量が圧倒的に多いこと、そして自分が毎回100%を出し切って作る授業でも必ず指摘が入るため、度々悔しい思いをすることです。ただ、その中でも新たな知識を身に付けることができたり、教職課程を履修しているからこそ他学部他学科の学生と交流できたりするため、本当に教職課程を履修してよかったと思っています。

● 語学検定試験(HSK, 中国語検定, TOPIK, ハングル検定など)の受験料補助制度もあります。

教員・研究の紹介

東アジア地域言語学科に所属している教員をご紹介します。 ※2024年4月1日現在



あんどう じゅんこ
安藤 純子 准教授

専門分野

「日韓・日朝関係」

「『木を見て森を見ず』とはならないように」-私が学生時代、日韓・日朝関係を見学際に、指導教員から言われたことです。現在、日韓・日朝の問題を考える時、感情的かつ問題の背景や将来の展望を考えずに判断する傾向があります。それでは問題の本質は見えてきません。日韓・日朝の問題に限らず、何事においても「森」全体を見ることを心掛けてみてください。それから、どんなモノでも構いませんので、大学在学中の4年間で何か打ち込めるモノを見つけてください。そして、卒業時には(少なくとも経済的に)自立できる人材になれるように努力してください。



おおさわ たけし
大澤 武司 教授

専門分野

「中国近現代史」「日中関係」

私は中国近現代史、中でも戦後日中関係を専門としています。中国が「大国化」する中、日本は中国と政治・経済・文化・安全保障など、さまざまな領域において「双贏」(ウィン・ウィン)の関係を築いていかなければなりません。そのためには相手と自分たちの間のこれまでの関係(歴史)を知ることが大前提となります。現在と将来の日中関係を客観的に分析する力をつけるため、歴史という視角から中国を学び、一緒に中国理解を深めていきましょう。



か おく こう
何億鶴 講師

専門分野

「中国近現代文学」

専門は中国近現代文学です。近年はジェンダーの視点から1980年代、1990年代の文学を研究しています。特に関心を持っているのは1990年代末〜大ブームを巻き起こした「小資(プチブル)文学」と呼ばれる作品群とそれをめぐる一連の文化現象です。中国近現代文学は読みにくそう、身近ではないと思っている人が多いかもしれませんが、現代都会を舞台とする「小資文学」においては、現代に生きる我々が共通して抱えている葛藤が描き出されていると思います。中国現代文学・文化研究の入り口として、「小資文学」に触れてみてはいかがでしょうか。



たむら かずひこ
田村 和彦 教授

専門分野

「中国研究」

中国の社会、文化を学んでいます。中国の社会、文化は、見方によってさまざまな像を結びますが、特に日本からみた際の差異と、人々の日常生活に関心を持っています。初めて中国大陸を訪れたのは、ちょうど大学2年次生の夏休みで、それ以来のお付き合いになりました。大学生の時代は、長いようでいて、あっという間に過ぎてゆきます。この短いけれども大切な時間に、隣国である中国への関心を深め、一緒に、そこで暮らす普通の人々の生活を学んでいきましょう。



りゅう ちゅんひ
柳 忠熙 准教授

専門分野

「韓国・朝鮮文学・思想」

私の専門は韓国・朝鮮の文学と思想です。特に、近代東アジアにおける知識人と社会の変化を考えながら、韓国・朝鮮の知識人の思想と文化について研究しています。皆さんは大学で何を学びたいのでしょうか。皆さんの多くは、大学での生活を、就職など、将来を準備することとして想像しているかもしれませんが、ところが、大学は、皆さんの将来の準備をするところであると同時に、皆さんが人々と共に生きていく教養を学び、社会を見る自分なりの観点を育てるところでもあります。この文章を読んでいるあなた、東アジアの文化・歴史・言語という視点から世界を考える教養と観点を、一緒に学んで育ててみませんか。



いぶし けいこ
伊伏 啓子 准教授

専門分野

「中国語学」「東西言語文化交流」

私の専門は中国語学です。特に、近代の中国語の語彙や語法の変化について、当時中国にやってきたキリスト教の宣教師や西洋で中国研究を行っていた中国学者の資料を用いて研究しています。大学時代に中国語と出会い、中国や台湾の留学生と友情を深めながら、楽しく学んできました。その後、思いがけず中国語を通して欧米にも広く繋がりを持てるようになり、現在に至っております。失敗を重ねながら、中国語でコミュニケーションを取る楽しさをぜひ皆さん一緒に味わいましょう。



おがた よしひろ
緒方 義広 准教授

専門分野

「日韓関係」「現代韓国社会」

現地に長く住み、韓国社会や日韓関係について身をもって学び、考えてきました。専攻は政治学ですが、韓国社会や日韓関係を考えるのにその歴史的・文化的背景を理解することの重要性を感じています。私にとって、大学時代の韓国留学は人生のターニングポイントになりました。日韓をめぐるさまざまな話題、問題について、皆さんと一緒に考え学ぶことはもちろん、大学での時間が、皆さんのこれからに重要な意味をなすよう応援していきます。



しゃ へい
謝 平 准教授

専門分野

「中国語学」「中国語教育学」「日中対照言語学」

大学時代は文学が大好きでしたが、日本語を勉強し始めてから母語である中国語の特徴や仕組みについて深く研究しようと思うようになりました。今は現代中国語の語順について調べております。世界人口の5分の1もの人々が中国語を使っています。多くの方とコミュニケーションをとれるように、是非中国語を楽しみながら勉強しましょう。



ゆん すみ
尹 秀美 准教授

専門分野

「社会言語学」「日韓対照言語学」

大学で初めて日本語を学び、私が一番好きになった言葉は「どうぞ」です。依頼、祈願や承諾などいろいろな場面で使われますが、私は相手に何かを勧めたり、頼みごとを承諾したりする時の「どうぞ」が好きです。この「どうぞ」には、短い言葉で人を思いやる日本人の心が象徴的に表れているように見えます。大学の4年間、韓国や中国の好きな言葉と、その言葉に隠れているものをたくさん見つけてください。



多彩な学習 —これまでの実績

中国コースの実績

■上海財経大学との交流活動

2019年9月には3泊4日の日程で1年次生から4年次生まで40人の学生が上海財経大学を訪れ、交流活動を行いました。現地では、学科の学生と教員が日本語字幕をつけた映画作品を上映し、中国人の学生たちと中国語や日本語を使って意見交換を行いました。また、小グループに分かれて上海の街を散策し、実際に中国語を使ってみるなど、大学での中国語学習の強い動機づけになる貴重な経験となりました。



■インターネットを利用したタンデム学習

2019～2023年度には広州大学外国語学院の協力をいただき、オンライン経由のタンデム学習プロジェクトを実施しました。タンデム学習とは、母語の異なる2人がペアになり、それぞれの言語や文化を互いに学び合う学習形態です。学生の中国語レベルに応じてコーディネーターがペアリングを行い、学生自身が学習計画(日程・内容・方法など)を相談しながら決めることで無理なく学習を進められます。新型コロナウイルスの感染拡大で海外渡航が難しい中、とても有効な中国語能力の向上の機会となりました。

〈例〉 日本語話者と中国語話者のタンデム学習(1時間半の場合)		
5-10分…	振り返り	
35分…	それぞれの 学習活動	例)中国語学習
35分…		例)日本語学習
5-10分…	次の計画	

韓国コースの実績

■高麗大学校／檀国大学校との交流会

2023年6月には高麗大学校が、11月には檀国大学校が福岡を訪問し、交流会を行いました。高麗大学校の先生から韓国文学に関する講義を聞き、日韓の学生と一緒に感想を述べ合ったり、檀国大学校の学生たちによる韓国社会や日韓関係についての発表について、それぞれの立場から議論を行うなどしたりしました。行事終了後にはキャンパスを案内し食事会も行いました。日頃から学んできた語学力を生かし大いに盛り上がりました。



檀国大学校との交流会

■福大韓国学シリーズ(講演会)

2018年より福大韓国学シリーズの一環として学生や一般人向けの講演会を行ってきました。講演会では、日本国内そして韓国の専門家をお招きし、授業ではあまり接することができない、韓国そして日韓関係に関わる話を聞くことができます。これまでの講演テーマは、韓国の文学と言語空間、現代韓国の民主主義、現在の日韓関係、在日コリアンの問題などについてのものでした。



第2回福大韓国学シリーズ(講演会)の様子

※東アジア地域言語学科について、詳しくは、ウェブサイトをご覧ください。



各種課程教育情報

博物館学芸員、社会教育主事、日本語教員、教職の4課程を開設。
将来の可能性を大きく広げる資格・免許の取得と同時に、
それぞれの実践のスキルを身に付けていきます。

人文学部では博物館学芸員課程、社会教育主事課程、日本語教員課程、教職課程の4課程を開設し、学生の資格・免許の取得を積極的に支援しています。これらの資格・免許は実務に直結しており、各職に就くことを目指す学生が毎年、数多く履修します。
また、これらの資格・免許の取得に必要な単位は、基本的に各学科の卒業要件単位とは別に修得するため、履修する学生たちには高い意欲が求められ、その切磋琢磨も有意義といえるでしょう。

博物館学芸員課程

人文学部 文化学科および歴史学科

学芸員は、博物館(美術館・歴史資料館など)において、資料の収集や保管、調査研究、展示などを専門的に行います。人文学部では、文化学科と歴史学科に学芸員を養成する課程を設けています。学芸員の資格を取得するためには各学科の卒業に要する単位他に、博物館に関する科目の規定単位を修得する必要があります。

■ 博物館に関する科目 ※2024年度入学生適用

【必修科目】	【選択科目】	● 考古学方法論A・B (含、実習) ● 考古学特講A・B・C・D ● 文化財学概論A・B ● 文化人類学特講 ● 社会人類学 ● 文化地理学 ● 社会地理学 ● 民俗文化論
● 博物館概論 ● 博物館経営論 ● 博物館資料論 ● 博物館資料保存論 ● 博物館展示論 ● 博物館情報・メディア論 ● 博物館教育論 ● 生涯学習概論A ● 博物館実習Ⅰ・Ⅱ	● 歴史学資料論A・B ● 日本の文化と歴史A・B・C・D ● 西洋の文化と歴史A・B・C・D ● 東洋の文化と歴史A・B・C・D ● 日本美術史 ● 日本美術論 ● 西洋美術史 ● 西洋美術論 ● 考古学概説A・B	

社会教育主事課程

人文学部 文化学科および教育・臨床心理学科

社会教育主事とは、都道府県および市町村の教育委員会に置かれる社会教育の専門的教育職員です。この社会教育主事課程では、学校教育以外で行われる青少年教育、成人教育、高齢者教育などの社会教育を行う人たちへ、専門的かつ技術的な助言と指導を与える専門職員の育成を目的としています。人文学部では、文化学科と教育・臨床心理学科にこの課程を設けています。本課程の修了者は「社会教育士(養成課程)」と称することができます。なお、社会教育主事の資格を取得するには、社会教育に関する科目の規定単位を修得した後、さらに1年以上の社会教育主事補の業務経験が必要です。

■ 社会教育に関する科目 ※2024年度入学生適用

【必修科目】	● 生涯スポーツ論 ● 生涯スポーツ実習 ● 博物館情報・メディア論 ● 社会調査実習 ● マス・コミュニケーション論 ● 教育の原理・課程論 ● 教育心理学 ● 道徳教育論 ● 日本美術史 ● 日本美術論 ● 西洋美術史 ● 西洋美術論	● 社会福祉論 ● 労働と法制度 ● 地域教育デザイン演習 ● 教育学概論Ⅰ・Ⅱ ● 教育人間学 ● 人間形成論 ● キャリア教育論 ● 発達心理学 ● 福祉心理学 ● 教育思想論 ● 教育社会学
● 生涯学習概論A・B ● 生涯学習支援論A・B ● 社会教育経営論A・B ● 社会教育演習A・B ● 社会教育実習 【選択科目】 ● 図書館概論 ● 図書館資料論 ● 博物館概論 ● 博物館資料論 ● 博物館教育論		

■ 日本語教員に関する科目 ※2024年度入学生適用

【必修科目】	【選択科目】	● 英語学概論A・B ● ドイツ語学概論A・B ● フランス語学概論A・B ● 中国言語文化概説B(言語) ● 韓国言語文化概説B(言語)
● 日本語学概論Ⅰ・Ⅱ ● 日本語史Ⅰ・Ⅱ ● 日本語教育法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ ● 日本語教授法演習Ⅰ・Ⅱ ● 社会言語学特講 ● 心理言語学特講	● 日本語学特講Ⅰa・Ⅰb・Ⅱa・Ⅱb・Ⅲa・Ⅲb・Ⅳa・Ⅳb・Ⅴa・Ⅴb・Ⅵa・Ⅵb ● 日本文学概論Ⅰ・Ⅱ ● 日本文学史Ⅰ・Ⅱ ● 日本の文化と歴史A・B・C・D ● 言語学概論A・B	

日本語教員課程

人文学部

国際化が進展し世界各国の日本への関心が高まる中、わが国では日本の伝統的文化と日本語の本質・特色を理解した上で、外国人に日本語を教育する人材がますます求められるようになってきました。この社会的要請に応えるため、本学では、人文学部に日本語教員として適格な人材を養成する日本語教員課程を設けています。この課程を履修し、必要な単位を修得した者には、本学所定の修了証が授与されます。

教職課程

中学・高等学校の教員を志望する学生のために、本学では教職課程を設けています。各学科の卒業に要する単位他に、教員免許状の取得に必要な教職課程科目の単位を修得することが必要です。

人文学部および大学院研究科で取得できる教員免許状は英語・ドイツ語・フランス語・中国語・朝鮮語の外国語の他、社会・地理歴史・公民・国語があります。また、小学校教諭免許状取得プログラム(※)に参加することにより、小学校教諭一種免許状の取得に必要な単位を在学中に修得することも可能です。

※教職課程受講料以外に費用が別途必要。

■ 教職課程開講科目 ※2024年度入学生適用

● 教職概論 ● 教育制度論 ● 教育行政学 ● 教育法規 ● 教育心理学 ● 特別支援教育論 ● 道徳教育論 ● 総合的な学習の時間と特別活動の指導法 ● 教育方法とICTの活用 ● 生徒指導論(進路指導を含む。) ● 教育相談	● 教育実習事前・事後指導 ● 教育実習Ⅰ ● 教育実習Ⅱ ● 養護実習事前・事後指導 ● 養護実習 ● 教職実践演習 ● 生涯学習概論A ● 生涯学習概論B ● 人権教育 ● 教育福祉論 ● 教科教育法 他
---	--

■ 取得できる教員免許状の種類と教科

[学部]

2024年度入学生適用

学 科		免許状の種類および教科		
		中学校教諭一種免許状	高等学校教諭一種免許状	その他の免許状
文化学科		社会	地理歴史・公民	－
歴史学科				
日本語日文学科		国語	国語	
教育・臨床心理学科		社会	公民	
英語学科		外国語(英語)	外国語(英語)	
ドイツ語学科		外国語(ドイツ語)	外国語(ドイツ語)	
フランス語学科		外国語(フランス語)	外国語(フランス語)	
東アジア地域言語学科	中国コース	外国語(中国語)	外国語(中国語)	
	韓国コース	外国語(朝鮮語)	外国語(朝鮮語)	

[大学院]

2024年度入学生適用

専 攻	免許状の種類および教科		
	中学校教諭専修免許状	高等学校教諭専修免許状	その他の免許状
史学	社会	地理歴史	－
日本語日文学	国語	国語	
英語学英米文学	外国語(英語)	外国語(英語)	
独語学独文学	外国語(ドイツ語)	外国語(ドイツ語)	
仏語学仏文学	外国語(フランス語)	外国語(フランス語)	
社会・文化論	社会	公民	
教育・臨床心理			

人文学部の 主な就職先

(2021年度～2023年度)

建設業 ● 大和ハウス工業(株)	● 日本航空(株)	● サントリーホールディングス(株)	複合サービス事業 ● 日本郵便(株)
製造業 ● TOPPAN(株) ● コカ・コーラボトラーズジャパン(株) ● タカラスタンダード(株) ● 山崎製パン(株) ● ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株) ● TOTO(株)	卸売業、小売業 ● (株)新出光 ● JR九州商事(株) ● (株)日本アクセス ● 三愛食品(株) ● (株)あらた ● コストコホールセールジャパン(株) ● (株)セブン・イレブン・ジャパン ● (株)岩田屋三越	宿泊業、飲食サービス業 ● JR九州ホテルズ(株) ● (株)星野リゾート・マネジメント ● スターバックスコーヒージャパン(株)	公務(他に分類されるものを除く) ● 国家公務員一般職 ● 航空管制官 ● 法務省専門職員(人間科学) ● 東京都庁 ● 福岡県庁 ● 福岡市役所
電気・ガス・熱供給・水道業 ● 九州電力(株)	金融業、保険業 ● (株)西日本シティ銀行 ● (株)福岡銀行 ● 楽天カード(株) ● 野村證券(株) ● 第一生命保険(株) ● 日新火災海上保険(株)	生活関連サービス業、娯楽業 ● アイ・ケイ・ケイ(株) ● (株)エイチ・アイ・エス ● (株)JTＢ	教育、学習支援業 ● 福岡市教員(小学校) ● 長崎県教員(中学校) ● 福岡県教員(高校) ● 福岡市教員(高校)
情報通信業 ● 楽天グループ(株) ● (株)ゼンリン ● (株)北海道新聞社 ● ソフトバンク(株)	学術研究、専門・技術サービス業 ● (株)読売広告西部	医療、福祉 ● 独立行政法人国立病院機構 ● 日本赤十字社福岡県支部 ● 日本年金機構	など
運輸業、郵便業 ● 全日本空輸(株)			